

(令和3年第1回定例会3月会議)
【議案第24～32号 参考資料】

令和3年度 当初予算 主要施策一覧

令和3年3月

会 計 課

目 次

【一般会計】

款	項	目	名称	施策名	ページ
1	1	議会費			
	1	議会費			
2	1	議会費	(新規) 議会映像配信事業		1
		総務費			
2	1	総務管理費			
	6	財産管理費	(新規) 旧花園中学校職員住宅解体工事		2
	7	企画費	住民参加のまちづくり支援事業 かつらぎ町自分ごと化会議 ふるさと住民票交付事業 ふるさとかつらぎ寄附金特產品送付事業		3 4 5 6
	17	地籍調査事業費	(新規) 公共交通調査事業		7
	18	コミュニティバス運行費	地籍調査事業		8
3	21	地域交流センター整備事業費	(拡充) コミュニティバス運行事業 (新規) 志賀地域交流センター整備事業		9 10
	1	民生費			
	1	社会福祉費	(新規) 障害者基本計画策定事業		11
		社会福祉総務費	(拡充) 障害者外出支援事業		12
	3	老人福祉費	(新規) 国城寮建替事業(伊都郡町村及び橋本市老人福祉施設事務組合)		13
	6	高齢者サロン事業費	高齢者サロン事業		14
2	2	児童福祉費			
	1	児童福祉総務費	給食費補助事業		15
	6	こども園運営費	こども園運営事業		16
	8	児童健全育成事業費	学童保育施設整備事業		17
4	1	衛生費			
	1	保健衛生費	地域医療体制整備促進事業		18
	2	保健衛生総務費	小児インフルエンザ予防接種助成事業		19
	3	予防費	(新規) 下志賀地区飲料水供給施設整備事業		20
	3	環境衛生費	(新規) 山崎地区飲料水供給施設整備事業		21
	4	母子保健費	(新規) 中飯降墓地改修事業		22
	5	保健福祉センター管理費	(拡充) 乳児全戸訪問・養育支援訪問事業		23
	8	新型コロナウイルス感染症対策事業費	(新規) 保健福祉センター空調改修事業		24
	2	清掃費	新型コロナウイルス感染症相談総合窓口設置事業		25
	2	じん芥処理費	新型コロナウイルスワクチン接種体制確保事業		26
	3	し尿処理費			
6	農林水産業費				
6	1	農業費			
	3	農業振興費	(新規) 笠田中用地利用基本構想策定業務委託		29
	4	園芸振興費	日本一の果樹産地づくり事業		30
	9	耕作放棄地対策推進事業費	農作物鳥獣害防止総合対策事業		31
	13	地域おこし支援費	地域おこし協力隊事業(援農・就農、移住支援業務)		32
	15	農道新設改良費	広域営農団地農道整備事業負担金		33
	16	農村地域防災減災事業費	(新規) 農村地域防災減災事業(ため池劣化状況評価・豪雨耐性評価業務委託)		34
	2	林業費	農村地域防災減災事業(県営ため池改修事業)		35
	1	林業総務費			
	6	山村地域おこし支援費	(新規) 森林管理意向調査等業務委託 環境林基盤整備事業補助金 森林再生統合事業補助金 世界遺産の森林を守ろう基金事業交付金 地域おこし協力隊事業		36 37 38 39 40

目 次

款	項	目	名称	施策名	ページ	
7	1	商工費				
		商工費				
	2	1 商工総務費	(拡充) 起業支援事業	41		
		2 地域おこし支援費	地域おこし協力隊事業(ふるさと特産品 開発・販売支援)	42		
	8	1	観光事業振興費			
			観光事業振興費	(新規) 観光案内・PR業務委託	43	
	9	2	土木費			
			道路橋梁費	(拡充) 公共施設等適正管理推進事業(個別施設計画)	44	
		10	3	道路新設改良費	辺地対策事業(四郷1号線)	45
			4	辺地対策事業費	過疎対策事業(宮本中央線)	46
5			過疎対策事業費	社会資本整備総合交付金事業(町道1号線)	47	
6			社会資本整備総合交付金事業費	社会資本整備総合交付金事業(大谷長野線)	48	
7			長寿命化修繕事業費	道路メンテナンス事業(橋梁点検)	49	
8				(新規) 道路メンテナンス事業(見好20号橋)	50	
9			河川費			
1	1 河川費	県営河川整備事業	51			
	2 内水対策河床整備事業	内水対策河床整備事業	52			
11	4	都市計画費				
		2 公園費	(新規) かつらぎ公園遊具移設事業	53		
	3 公園整備事業費	かつらぎ西部公園整備事業	54			
	4 かつらぎ西部公園管理費	かつらぎ西部公園管理事業	55			
12	5	住宅費				
		7 公営住宅等整備事業費	妙寺団地建替事業	56		
	8 公営住宅等ストック総合改善事業費	公営住宅等ストック総合改善事業	57			
13	9 空家等対策事業費	(新規) 不良空家等対策事業	58			
	防災費					
14	1	消防費				
		4 消防施設整備費	防火水槽設置工事 防災基盤整備事業	59 60		
	2	7 防災費	(新規) 地域防災計画見直し事業	61		
		教育費				
	15	3 中学校費				
		3 教育振興費	(新規) 地域運動部活動推進事業 (新規) 新学習指導要領対応備品整備事業	62 63		
	16	5	社会教育費			
1 社会教育総務費			北紀太鼓フェスティバル(国民文化祭、全国障害者芸術・文化祭) (新規) かつらぎ町地域文化発信事業(国民文化祭、全国障害者芸術・文化祭)	64 65		
6		7 文化財保護費	(新規) 文覚井修理費補助金	66		
		2 保健体育費				
7 保健体育振興費	オリンピック聖火リレー事業	67				

目 次

【シビックセンター特別会計】

款	項	目	名称	施策名	ページ
2	1	1	事業費		
		1	事業費		
		1	事業費	紀州かつらぎふるさとオペラ公演事業	68

【介護保険事業特別会計】

款	項	目	名称	施策名	ページ
3	3	2	地域支援事業費 包括的支援事業・任意事業費 任意事業費		
		2	任意事業費	かつらぎ町高齢者等見守り配食サービス事業	69

【花園地域交流推進施設運営事業特別会計】

款	項	目	名称	施策名	ページ
1	1	1	事業費 事業費		
		1	はなぞの温泉「花園の里」運営費	はなぞの温泉「花園の里」運営事業	70
		2	花園野外活動総合施設運営費	アマゴ釣り大会運営事業	71

【水道事業会計(上水道の部)】

款	項	目	名称	施策名	ページ
1	1	1	資本的支出 建設改良費		
		3	改良更新費	中谷川改修工事に伴う送配水管布設替工事 (新規) 佐野浄水場浄化槽更新工事	72 73
		4	固定資産購入費	(新規) 水道料金調定収納及び公営企業会計システム購入事業	74

【水道事業会計(花園梁瀬簡易水道の部)】

款	項	目	名称	施策名	ページ
1	1	3	資本的支出 建設改良費 改良更新費	(新規) 中継ポンプ井更新設計業務委託料	75

【下水道事業会計】

款	項	目	名称	施策名	ページ
1	1	1	資本的支出 建設改良費 公共下水道整備事業費	大谷雨水幹線工事	76

※全76事業(うち、新規25件 拡充5件 その他46件)

【一般会計】		事業区分	町自主事業	
新規 議会映像配信事業		(款) 1. 議会費 (項) 1. 議会費 (目) 1. 議会費	本年度予算 4,364千円	
			前年度予算 0千円	
			(増 減) 4,364千円	
第5章 みんなでつくる協働のまちづくり		議会事務局 予算書 61ページ	第1 協働によるまちづくり	
第1節 住民主体のまちづくり				

内 容	今まで傍聴が困難であった高齢者や障害者の方をはじめ、年齢層を問わず幅広く多くの方が議会傍聴しやすい環境を整えるため、本会議の映像を記録し、町議会ホームページから配信を実施します。 [事業期間] 令和3年度 ~	
目的	議会活動が町民の身近なものとなり、町民が議会や町政への知識や関心を高め、まちづくりへの関わりを深めていくことを目的としています。 傍聴環境を整備し、議会の内容を町民に伝える(広報活動)とともに、町民の意見等を把握(広聴活動)し、議会活動に反映させることを目指します。 また、議場に来なくとも議会傍聴することが可能となるため、新型コロナウイルス感染症対策として、傍聴者の安全性を確保します。	
目標	活動	本会議の映像記録と編集に係る業務の委託を行います。 議会だよりやホームページに掲載するなど、随時周知・啓発を行います。
目標	目標	映像配信アクセス数を増やし、傍聴及び映像視聴後の意見提出の増加を目指します。
成果	実績	
成果	課題等	

経 費	議会映像配信業務委託料 インターネット回線使用料 議場インターネット回線引込工事 (計)	4,092千円 53千円 219千円 4,364千円
財 源	一般財源(うち、ふるさとかつらぎ基金繰入金 3,000千円)	4,364千円

【一般会計】		事業区分	町自主事業
新規	旧花園中学校職員住宅解体工事		本年度予算 3,386千円
(款) 2. 総務費	(項) 1. 総務管理費 (目) 6. 財産管理費		前年度予算 0千円
企画公室 管財契約係		予算書 69ページ	(増 減) 3,386千円
第3章 安全で安心して暮らせるまちづくり	第4節 安全・安心のまちづくり	第1 防災対策・体制の強化	

内 容	旧花園中学校職員住宅については、老朽化により屋根が損傷しており、台風等の災害時には周辺が危険な状況になると判断されることから解体を行います。 〔事業期間〕 令和3年度	
目的	破損状態が年々悪化しており、強風が吹くと周辺に飛散してしまう恐れがあります。周辺には民家もあり二次被害も考えられるため、速やかに解体を行うことで、公共施設の適切な管理を推進し、住民が安全で安心して暮らせるまちづくりを目指します。	
目 標	活動	旧花園中学校職員住宅の解体工事を行い、借地を返還します。
目 標	目標	二次被害の恐れのある職員住宅を撤去することにより、安全性を確保します。
成 果	実績	
成 果	課題等	

経 費	旧花園中学校職員住宅解体工事	3,386千円
	(計)	3,386千円
財 源	一般財源	3,386千円

【一般会計】		事業区分	町自主事業	
住民参加のまちづくり支援事業		(款) 2. 総務費 (項) 1. 総務管理費 (目) 7. 企画費	本年度予算 2,523千円	
			前年度予算 2,523千円	
企画公室 まちづくり推進係			(増 減) 0千円	
第5章 みんなでつくる協働のまちづくり		予算書 70ページ	第1 協働によるまちづくり	

内 容	住民自らが実施する、住民主体によるまちづくり活動に対し、補助金を交付します。					
	<p>[事業実施] 3月、7月に事業を募集。4月、8月に審査会を実施し、採択された事業に対して交付決定を行います。</p> <p>[補助限度額]</p> <p>広域交流促進事業：広域的な交流人口の拡大につながる地域振興のためのイベント事業 (補助対象経費の1/2以内)</p> <p>地域活動支援事業：地域活動組織の育成強化につながるまちづくり事業 (補助対象経費の2/3以内)</p> <p>*いずれも上限は50万円。</p> <p>*移住・定住促進のための事業に限り、クラウドファンディングの活用可能。</p> <p>[事業期間] 平成19年度～令和3年度</p>					
目的	住民の連帯の強化及び協働のまちづくりによるまちづくりを推進し、個性豊かで活力に満ちた地域社会の実現を図ります。 また、かつらぎ町まち・ひと・しごと創生総合戦略に定める広域的な交流促進を図ります。					
目標	<table border="1"> <tr> <td>活動</td><td>審査委員会の開催回数：2回</td></tr> <tr> <td>目標</td><td> <p>補助金交付対象事業数の増加を目指します。</p> <p>[数値目標]</p> <ul style="list-style-type: none"> 補助金交付件数：(R2) 3件 → (R3) 5件 </td></tr> </table>		活動	審査委員会の開催回数：2回	目標	<p>補助金交付対象事業数の増加を目指します。</p> <p>[数値目標]</p> <ul style="list-style-type: none"> 補助金交付件数：(R2) 3件 → (R3) 5件
活動	審査委員会の開催回数：2回					
目標	<p>補助金交付対象事業数の増加を目指します。</p> <p>[数値目標]</p> <ul style="list-style-type: none"> 補助金交付件数：(R2) 3件 → (R3) 5件 					
成果						

経 費	まちづくり支援事業審査委員会委員報償費	23千円
	住民参加のまちづくり支援事業補助金	2,500千円
	(計)	2,523千円
財 源	一般財源	2,523千円

【一般会計】		事業区分	町自主事業	
かつらぎ町自分ごと化会議		(款) 2. 総務費 (項) 1. 総務管理費 (目) 7. 企画費	本年度予算 3,787千円	
			前年度予算 3,185千円	
企画公室 まちづくり推進係			(増 減) 602千円	
第5章 みんなでつくる協働のまちづくり		予算書 70ページ	第1 協働によるまちづくり	

内 容	町民の中から無作為抽出のうえ応募のあった住民判定人による事業仕分けを行います。 事務事業についての議論は外部有識者の仕分け人が行い、その議論を聞いて、無作為抽出のうえ応募による「住民判定人」が判定を行います。(住民判定人は1班20名～30名程度を想定、判定人は議論に加わらない、会議は全面公開にて実施) 会議での結論をもとに内部協議を行い、事業の見直し・改善につなげます。	
	[事業期間] 令和2年度～	
目的	これからのまちづくりの基本的な考え方として、いかに小さくして質を高めるか、住民がいかに町のことを「自分ごと化」できるかがポイントとなります。 事業担当者と仕分け人や住民が個々の事業の課題を共有し、ともに解決策を考えることにより、住民が行政に対する理解を深めて当事者意識や信頼感を醸成するきっかけとし、政治、行政を「自分ごと」と捉える土壌を形成します。	
目標	活動	[数値目標] 仕分け事業数:10事業(1班体制・2日)
目標	目標	住民が行政に対する理解を深めて当事者意識や信頼感を醸成するきっかけとし、政治、行政を「自分ごと」と捉える土壌を形成します。
成果	実績	
成果	課題等	

経 費	事業仕分け報償費	456千円
	食糧費	26千円
	印刷製本費	18千円
	郵送料	152千円
	事業仕分け業務委託料	3,135千円
	(計)	3,787千円
財 源	一般財源	3,787千円

【一般会計】		事業区分	町自主事業	
ふるさと住民票交付事業		(増 減) △ 260千円	本年度予算 353千円	
(款) 2. 総務費 (項) 1. 総務管理費 (目) 7. 企画費			前年度予算 613千円	
企画公室 まちづくり推進係	予算書 70ページ		(増 減) △ 260千円	
第4章 豊かな人間性を育むまちづくり	第4節 交流によるまちづくり	第1 地域間交流の推進		

内 容	ふるさと住民票制度とは、少子高齢化による人口減少に歯止めをかけ、定住人口の増加を図るべく、関係人口を増やす取り組みとして、地方自治体に対し関わりを持ちたいと考える人を対象にふるさと住民票を発行することにより、まちづくりへの参加に機会や必要なサービスを提供し、つながりを確かなものとする制度です。 かつらぎ町では、町外在住の方で、かつらぎ町に「関わりたい」「応援したい」との思いを持たれる方に、ふるさと住民として登録いただき、その証に「ふるさと住民票カード」の発行を行います。		
	<p>[主な対象者] かつらぎ町出身者、ふるさと納税で寄付いただいた方、かつらぎ町に通勤・通学している方</p> <p>[実施団体] 令和2年5月時点で自治体10団体が本制度を導入しています。</p> <p>[事業期間] 令和2年度～</p>		
目的	かつらぎ町にゆかりや愛着のある町外在住者に対して、情報提供やまちづくりに参画していくことで結びつきを強化し、交流人口や関係人口の増加に繋げます。		
目標	活動	ふるさと住民として登録を希望される方に「ふるさと住民票カード」を発行します。 ふるさと住民制度に登録してもらい、かつらぎ町との繋がりを深めてもらえるように、PR活動やイベントを行います。	
目標	目標	[数値目標] 登録者数:100人	
成果	実績		
成果	課題等		

経 費	ふるさと住民票登録記念品	45千円
	職員旅費	113千円
	消耗品費	5千円
	食糧費	15千円
	印刷製本費	66千円
	郵送料	104千円
	保険料	5千円
	(計)	353千円
	一般財源	353千円

【一般会計】		事業区分	町自主事業
ふるさとかつらぎ寄附金特產品送付事業			本年度予算 232,988千円
(款) 2. 総務費 (項) 1. 総務管理費 (目) 7. 企画費			前年度予算 144,993千円
企画公室 まちづくり推進係		予算書 70ページ	(増 減) 87,995千円
第2章 地域の特性を生かした活力あるまちづくり		第1節 活力を生むまちづくり	第1 地域特性を生かした農林業の展開

内 容	ふるさとかつらぎ寄附金を1件5千円以上寄附いただいた寄附者を対象に、寄附額に応じた地元特產品を送付します。 地元特產品の収集及び発送などの事務は、取扱事業者へ委託します。 [事業期間] 平成24年度 ~	
目的	ふるさとかつらぎ寄附金条例に基づく寄附金を一定金額以上寄附した者(寄附者)に対し、地元特產品等を贈呈し、感謝の意を表するとともに、ふるさとかつらぎ寄附金の推進を図り、地元特產品のPRを行います。	
目 標	活動	地元特產品の数量拡大を目指します。 [数値目標] ・地元特產品の種類 : (R2)280種類 → (R3)300種類
目 標	目標	寄附件数の前年度比アップを目指します。 [数値目標] ・寄附件数 : 18,000件 (H31実績件数)11,399件 (R2見込件数)17,000件数
成 果	実 績	
	課 題 等	

経 費	ふるさとかつらぎ寄附金特產品送付業務委託料 ふるさと納税支援業務委託料 クレジットカード公金支払サービス利用料 その他事務費 (計)	177,555千円 48,242千円 4,043千円 3,148千円 232,988千円
財 源	ふるさとかつらぎ寄附金特產品 一般財源 【参考】ふるさとかつらぎ寄附金歳入予算額	36,754千円 196,234千円 320,000千円

【一般会計】		事業区分	町自主事業
新規 公共交通調査事業		(増 減) 4,857千円	本年度予算 4,857千円
(款) 2. 総務費 (項) 1. 総務管理費 (目) 7. 企画費			前年度予算 0千円
企画公室 まちづくり推進係		予算書 70ページ	
第1章 豊かな自然と歴史・文化のまちづくり 第3節 快適で潤いのあるまちづくり		第1 生活基盤の整備	

内 容	公共交通網を構築又は再編を検討するため、コミュニティバス及びデマンドタクシーが運行していない地区を対象に巡回バスを運行し、公共交通の需要調査を行います。 [運行ルート] 柏木ルート／短野ルート／山崎・教良寺ルート 各ルート週1日の運行(1日3便) [運賃] 無料 [事業期間] 令和3年度		
目的	今後、公共交通網の構築、再編を検討する際、調査結果を踏まえることで、より地域の需要に応じた交通網を構築します。 また、まちづくりの視点や買い物支援など多角的な面からも情報収集等を行うことで、利用者の利便性向上を図ります。		
目標	活動	公共交通網を構築又は再編を検討するため、コミュニティバス等が運行していない地区的「柏木」・「短野」・「山崎・教良寺」にて巡回バスを無料で試験的に運行し、公共交通の需要調査を実施します。 また、主な利用者と見込まれる高齢者等の需要を把握するため、関連団体と連携した調査を併せて実施します。	
	目標	コミュニティバス等で収集されたデータと今回の調査で得られるデータを集約し、「公共交通網のあり方」について検証します。	
成果	実績		
	課題等		

経 費	公共交通調査業務委託料 公共交通調査停留所設置業務委託料	4,248千円 609千円
	(計)	4,857千円
財 源	一般財源	4,857千円

【一般会計】		事業区分	国の制度等
地籍調査事業			本年度予算 207,865千円
(款) 2. 総務費	(項) 1. 総務管理費	(目) 17. 地籍調査事業費	前年度予算 229,413千円
地籍調査室		予算書 79ページ	(増 減) △ 21,548千円
第1章 豊かな自然と歴史・文化のまちづくり		第2節 自然と調和したまちづくり	第1 秩序ある土地利用

内 容	<p>昭和26年に制定された国土調査法に基づき、旧かつらぎ町では平成元年、旧花園村では平成10年より開始されました。</p> <p>地権者・関係者の立会のもと一筆ごとの土地の地籍(所有者・地番・地目・境界・面積)を調査・確認・測量し、地籍簿・地籍図を作成します。</p> <p>その結果を基に、法務局では地籍簿により登記簿の記載を修正し、地籍図は公図に変わり14条地図として整備されます。要調査面積は148.44km²です。</p> <p>[事業期間] 平成元年度～令和5年度</p>
目的	現在、法務局備えつけの公図及び資料の多くは、明治初期に作られたもので、長い年月を経て現地と合わない等の不備欠陥があり、地籍調査により修正します。結果、国土の実態を正確に把握し、土地に関する基礎資料の整備及び地籍の明確化を図ります。
目標	<p>下記の地区において、各工程を実施するほか、推進委員会・地元説明会を通じて啓発活動を実施します。</p> <p>[一筆地調査] R3地区 大字志賀の一部、大字短野の一部、大字大畠の一部、大字神田の一部 [測量工程] H31地区 大字西飯降・大畠の各一部、大字花園久木の一部 R2地区 大字志賀の一部、大字丁ノ町の一部、大字大畠の一部、大字下天野の一部 [閲覧工程] H30地区 大字下天野・星山の各一部 H31地区 大字志賀の一部、大字丁ノ町の一部、大字花園北寺の一部 大字西飯降・大畠の各一部、大字花園久木の一部 R2地区 大字花園梁瀬の一部、大字花園久木の一部</p>
目標	地籍調査の進捗率を一筆地調査では100%、法務局送付では90%とします。
成果	実績
	課題等

経 費	職員人件費	53,077千円
	会計年度任用職員報酬・手当等	16,678千円
	地籍調査推進員報償費・公務災害負担金	4,762千円
	地籍調査事業委託料	121,953千円
	その他事務費	11,395千円
	(計)	207,865千円
財 源	地籍調査事業負担金(県負担金、141,070千円×3/4)	105,802千円
	土地管理情報システム及び座標値一覧表交付手数料	511千円
	その他特定財源(コピ一代、会計年度職員雇用保険個人負担金)	43千円
	一般財源	101,509千円

【一般会計】		事業区分	町自主事業
拡充	コミュニティバス運行事業		本年度予算 30,816千円
(款) 2. 総務費	(項) 1. 総務管理費	(目) 18. コミュニティバス運行費	前年度予算 33,998千円
総務課 総務係		予算書 82ページ	(増 減) △ 3,182千円
第1章 豊かな自然と歴史・文化のまちづくり		第3節 快適で潤いのあるまちづくり	第1 生活基盤の整備

内 容	公共交通空白地でコミュニティバスの運行を行います。運行形態の再編により、コミュニティバス3コースとデマンド型乗合タクシー5ルートの運行とします。		
	[コミュニティバス]	①新城花園コース(4往復8便) 毎日運行(12/31～1/3運休) ②天野コース (5往復10便) 每日運行(12/31～1/3運休) ③通院コース (3往復6便) 月～土曜日運行(日祝、12/31～1/3運休)	
	[デマンド型乗合タクシー]	平日運行(土日祝、12/31～1/3運休) ①四郷ルート (3往復6便) ②笠田西部ルート(3往復6便) ③妙寺ルート(3往復6便) ④河南西ルート(3往復6便) ⑤河南東ルート (3往復6便)	
	[料金共通]	大人(中学生以上) 200円 (障害者及びその介護者、高校生以下の生徒は半額) 小人(小学生以下) 100円 (障害者は半額、6歳未満の幼児は無料) ※乗り継ぐ場合は、「乗継券」で無料	
	[事業期間]	平成14年度～	
	目的	公共交通空白地の解消及び高齢者などの交通弱者の買物や通院といった日常生活のための交通手段として運行します。また、利便性の向上と効率的な運行を図るとともに更なる利用促進に努めることで、利用者の増加につなげ持続可能な公共交通ネットワークを構築します。	
目標	活動	<ul style="list-style-type: none"> 公共交通の整備により、高齢者の自立した生活を支援します。 町内JR主要駅と接続することでJR和歌山線の利用者の増加を図ります。 	
目標	目標	<ul style="list-style-type: none"> 利用しやすい経路や時刻設定により、利用者の増加を目指します。 年間総乗車人数(目標)：20,000人/年以上 (H31実績) 19,216人/年 (R2見込) 14,000人/年 デマンド交通の導入で運行の効率化による運行経費の縮減を図ります。 	
成果	実績		
成果	課題等		

経費	コミュニティバス運営委員会委員報償費	228千円
	コミュニティバス運行補助金	21,582千円
	デマンド交通運行補助金	8,863千円
	その他事務費	143千円
	(計)	30,816千円
財源	一般財源(運行補助金の80%が特別交付税の対象)	30,816千円

【一般会計】		事業区分	町自主事業
新規	志賀地域交流センター整備事業		本年度予算 4,696千円
(款) 2. 総務費	(項) 1. 総務管理費	(目) 21. 地域交流センター整備事業費	前年度予算 0千円
企画公室 まちづくり推進係		予算書 83ページ	(増 減) 4,696千円
第3章 安全で安心して暮らせるまちづくり		第3節 支え合うまちづくり	第4 コミュニティ活動の活性化

内 容	休館中の志賀ふれあい会館について、地域交流センターに改修し、地域住民の自主的な地域活動や、文化・学習活動、世代間の交流を促進し、地域の活性化につながる施設を目指します。 [事業期間] 令和3年度～令和4年度
目的	志賀地域の拠点として、将来にわたって地域活動を続けていくことができる施設とするために志賀ふれあい会館を改修し、地域の活性化を図ります。
目標	活動 志賀ふれあい会館の改修について、志賀自治区と協議を行い、地域コミュニティ活動の拠点となる施設の設計・整備工事を行います。(令和3年度は設計業務を行います。) 目標 大規模災害発生時の避難所としても有効に活用できる施設とします。 高圧受電を低圧に変更するなど、改修に合わせて維持管理費の軽減を図ります。
成果	実績 課題等

経 費	志賀地域交流センター整備工事設計業務委託料	4,696千円
	(計)	4,696千円
財 源	空き家対策総合支援事業費補助金(国補助、4,696千円×1/2)	2,348千円
	合併特例事業債(借入金、返済額のうち町負担は30%)	2,200千円
	一般財源	148千円

【一般会計】		事業区分	国の制度等
新規	障害者基本計画策定事業		本年度予算 674千円
(款) 3. 民生費	(項) 1. 社会福祉費	(目) 1. 社会福祉総務費	前年度予算 0千円
住民福祉課 福祉係		予算書 92ページ	(増 減) 674千円
第3章 安全で安心して暮らせるまちづくり		第2節 いきいきと暮らせるまちづくり	第3 障害者支援の充実

内 容	「かつらぎ町障害者基本計画」は、障害者基本法第11条に基づき、平成19年3月に策定しました。 その後、「第2次かつらぎ町障害者基本計画」を平成29年3月に策定しており、令和3年度において、令和4年度から5年間の「第3次かつらぎ町障害者基本計画」を策定します。 [事業期間] 令和3年度
目的	計画策定を通じて、障害を持つ方が社会のあらゆる活動に参加し、その能力を最大限発揮して自己実現できるような共生社会を形成し、いきいきと暮らせるまちづくりを実現します。
目標	かつらぎ町障害者基本計画策定委員会を設置し、計画策定に関する事項の審議を行います。 また、アンケート調査を実施することで、障害福祉に関する意向の把握を行います。
目標	アンケート調査の結果を反映し、障害を持つ方があらゆる活動に参加し、自己実現できる共生社会の実現を目指した計画を策定します。
成果	
課題等	

経 費	障害者基本計画策定委員報償費	304千円
	消耗品費	10千円
	印刷製本費	55千円
	郵送料	305千円
	(計)	674千円
財 源	一般財源	674千円

【一般会計】		事業区分	町自主事業	
拡充 障害者外出支援事業		(款) 3. 民生費 (項) 1. 社会福祉費 (目) 1. 社会福祉総務費	本年度予算 5,485千円	
			前年度予算 4,130千円	
			(増減) 1,355千円	
住民福祉課 福祉係		予算書 93ページ		
第3章 安全で安心して暮らせるまちづくり		第2節 いきいきと暮らせるまちづくり		
		第3 障害者支援の充実		

内 容	<p>重度の障害者(児)が生活をする中で社会活動への参加を促進とともに、経済的負担軽減のため、福祉タクシーの利用料金、又は自動車燃料費の一部を助成します。</p> <p>また、対象者の要件が同じであった障害者及び障害児福祉支援金事業と当事業を一本化し、タクシー券及び燃料券の交付枚数を増加することで、障害福祉の増進を目指します。</p> <p>[交付枚数] 令和2年度以前 令和3年度以降 福祉タクシー券 500円×20枚(10,000円) ⇒ 500円×30枚(15,000円) 自動車燃料券 500円×10枚(5,000円) ⇒ 500円×15枚(7,500円)</p> <p>[事業期間] 平成25年度 ~</p>		
目的	<p>福祉タクシーの利用料金、又は自動車燃料費の一部を助成することで、重度心身障害者(児)の生活行動の拡大及び社会経済や文化、その他あらゆる分野の活動における参加の促進を図ります。</p> <p>また、重度心身障害者(児)、及びこれを扶養する者の経済的負担を軽減し、町内における障害者福祉の増進に寄与することを目的とします。</p>		
目標	活動	広報等により制度の案内を行い、福祉タクシー券又は自動車燃料券の申請受付、券の交付を行います。	
目標	目標	重度心身障害者(児)の社会参加の促進や、経済的負担の軽減により、町内における障害者福祉の増進を図ります。	
成果	実績		
成果	課題等		

経 費	印刷製本費	195千円
	郵送料	76千円
	障害者外出支援事業費	5,214千円
	(計)	5,485千円
財 源	一般財源(うち、ふるさとつらき基金繰入金 3,000千円)	5,485千円

【一般会計】		事業区分	町自主事業
新規	国城寮建替事業(伊都郡町村及び橋本市老人福祉施設事務組合)		本年度予算 44,684千円
(款) 3. 民生費	(項) 1. 社会福祉費	(目) 3. 老人福祉費	前年度予算 0千円
健康推進課 長寿社会係		予算書 96ページ	(増 減) 44,684千円
第3章 安全で安心して暮らせるまちづくり		第2節 いきいきと暮らせるまちづくり	第2 高齢者福祉の充実

内 容	<p>伊都郡町村及び橋本市老人福祉施設事務組合が設置、運営を行う国城寮について、建築後、約50年経過し老朽化が進んでいる現状です。増改築や修繕を繰り返してきましたが、建物の老朽化に伴い、修繕箇所が多く発生しています。また、建築基準法で導入された新耐震基準に基づいた設計でないため耐震性の課題があります。</p> <p>これらに加え、国城寮の現状分析、将来需要推計等を協議した結果、建て替えをすることが合理的と判断し、実施するものです。</p> <p>[事業期間] 令和3年度～令和5年度 [総事業費] 2,756,322千円</p> <p>[令和3年度町負担額] 44,684千円 (R3負担割合:財政割22.97%+人口割19.23%)</p>		
	<p>老朽化した国城寮(養護老人ホーム・特別養護老人ホーム)の建て替えを行い、橋本・伊都地域の老人福祉の向上を図ります。特養入所待機者への対応・養護(措置)の受け入れ対応の充実を目指します。</p>		
目 的	活動	令和3年度 基本設計・実施設計・用地造成 令和4年度 建築工事 令和5年度 建築工事	
目 標	目標	令和6年2月(令和5年度)の完成を目指します。	
成 果	実績		
	課題等		

經 費	伊都郡町村及び橋本市老人福祉施設事務組合分担金(国城寮建て替え分) (計)	44,684千円 44,684千円
財 源	過疎対策事業債(借入金、返済額のうち町負担は30%) 一般財源	31,800千円 12,884千円

【一般会計】		事業区分	町自主事業
高齢者サロン事業			本年度予算 3,396千円
(款) 3. 民生費	(項) 1. 社会福祉費	(目) 6. 高齢者サロン事業費	前年度予算 5,099千円
健康推進課 長寿社会係		予算書 99ページ	(増 減) △ 1,703千円
第3章 安全で安心して暮らせるまちづくり		第2節 いきいきと暮らせるまちづくり	第1 高齢者の社会参加

内 容	高齢者サロンは、地域において参加者が主体となって自主的に運営を行います。地域で生活している方がふれあいを通して仲間づくりの輪を広げ、生きがいづくりや社会参加を促進する地域の拠点作りを目的としており、その運営に対して助成等を行います。 [事業期間] 平成25年度 ~		
目 的	高齢者の交流により、生きがいづくり、引きこもり防止、認知症予防、社会参加の促進等を図り、健康寿命を延ばします。		
目 標	活動	自主的に活動することで、人との交流や団らんなどを持つなど個々の生きがいづくりにつながる活動を実施します。	
目 標	目標	延べ参加人数の前年度比5%増を目指します。 [数値目標] 延べ参加人数 : (R2)3,000人(見込)→(R3)3,150人 団体数 : (R2)34団体(見込)→(R3)35団体	
成 果	実績		
	課題等		

経 費	講師謝金	480千円
	高齢者サロン事業助成金	2,695千円
	その他事務費	221千円
	(計)	3,396千円
財 源	支え合いのふるさとづくり事業補助金(県補助、2,000千円×1/3)	666千円
	コピー代	1千円
	一般財源(うち、ふるさとかつらき基金繰入金 1,000千円)	2,729千円

【一般会計】			事業区分	町自主事業
給食費補助事業				本年度予算 12,435千円
(款) 3. 民生費 (項) 3. 民生費 10. 教育費	2. 児童福祉費 (項) 2. 児童福祉費 4. 幼稚園費	1. 児童福祉総務費 (目) 6. こども園運営費 1. 幼稚園総務費		前年度予算 15,501千円
教育総務課 子育て係 住民福祉課 福祉係	予算書	108ページ		(増減) △ 3,066千円
第3章 安全で安心して暮らせるまちづくり			第3節 支え合うまちづくり	第1 出産・子育て環境の充実

内 容	①「幼稚園・保育所・こども園等」の給食費について、町独自に補助を行います。 ※(町立のこども園については、こども園運営委託料に計上) ②「児童発達支援センター等」の給食費について町独自に補助を行います。	
	<p>[事業対象] かつらぎ町に住民登録を有する児童の施設利用時に必要な給食費</p> <p>①幼稚園・保育所・こども園等 国及び県の制度による免除対象者以外の3~5歳児</p> <p>②児童発達支援センター等 県の制度による免除対象者以外の0~5歳児</p>	
[上限額]	①幼稚園・保育所・こども園等:月額 5,500円 ②児童発達支援センター等:月額 7,000円	
[事業期間]	令和2年度 ~	
目的	子育て世代の経済的負担を軽減し、子育てしやすい環境を整えます。	
目標	活動	制度周知を行い、給食費に対して補助を行うことにより保護者の経済的負担を軽減します。
	目標	子育てしやすい環境を整え、子育て世代の定住を促進します。
成果	実績	
	課題等	

経 費	給食費補助金(広域分)	132千円
	給食費補助金(児童発達支援センター等)	1,086千円
	給食費補助金(町立こども園)※こども園運営委託料に含む	9,892千円
	給食費補助金(幼稚園)	1,325千円
	(計)	12,435千円
財 源	一般財源	12,435千円

【一般会計】		事業区分	町自主事業
こども園運営事業			本年度予算 516,480千円
(款) 3. 民生費	(項) 2. 児童福祉費	(目) 6. こども園運営 費	前年度予算 503,956千円
教育総務課 子育て係	予算書	110ページ	(増 減) 12,524千円
第3章 安全で安心して暮らせるまちづくり	第3節 支え合うまちづくり		第1 出産・子育て環境の充実

内 容	こども園は、教育・保育を一体的に行う幼・保の両方の良さを併せ持ち、保護者の就労状況が変化したときでも通いなれた園を継続して利用することができます。 また、特別保育事業として、一時保育・延長保育・預かり保育・体調不良児対応保育・発達支援保育・子育て支援事業を展開します。	
	[事業期間] 平成28年度 ~	
目 的	就学前の子どもに対する教育及び保育並びに保護者に対する子育て支援の総合的な提供を行い、子育てしやすい環境を整えます。	
目 標	活動	特別保育事業(一時保育・延長保育・預かり保育・体調不良児対応保育・発達支援保育) 及び子育て支援 ・保護者の緊急時に応じた一時保育の実施 ・7時から20時までの早期・延長保育の実施 ・幼稚園部の預かり保育の実施 ・看護師等による体調不良児の対応 ・園庭開放、子育て相談
	目標	事業実施により、安心して子育てできる環境の充実並びにワーク・ライフバランスの推進を図り、子育て世代の定住を促進します。
成 果	実績	
	課題等	

経 費	こども園運営委託料	507,385千円
	園児送迎委託料	6,988千円
	備品購入費(対話型翻訳機)	150千円
	その他事業費	1,957千円
	(計)	516,480千円
財 源	こども園利用者負担額	19,678千円
	子ども・子育て支援交付金事業補助金(国補助、8,944千円 × 1/3)	2,981千円
	子ども・子育て支援交付金事業補助金(県補助、8,944千円 × 1/3)	2,981千円
	保育対策総合支援事業費補助金(国補助、150千円 × 1/2)	75千円
	紀州っ子いっぱいサポート事業費補助金 保育料分(県補助、6,512千円 × 1/2)	3,256千円
	紀州っ子いっぱいサポート事業費補助金 食材料費分(県補助、2,166千円 × 1/2)	1,083千円
	日本スポーツ振興センター掛金(保護者負担金・給付金)	260千円
	保育委託運営費	10,619千円
	一般財源	475,547千円

【一般会計】		事業区分	町自主事業
学童保育施設整備事業			本年度予算 111,044千円
(款) 3. 民生費 (項) 2. 児童福祉費 (目) 8. 児童健全育成事業費			前年度予算 4,380千円
教育総務課 子育て係		予算書 111ページ	(増 減) 106,664千円
第3章 安全で安心して暮らせるまちづくり		第3節 支え合うまちづくり	第1 出産・子育て環境の充実

内 容	現在、笠田の学童保育は、旧笠田幼稚園舎にて運営していますが、当該施設は老朽化が進行していることから、旧園舎を取り壊して、学童保育施設を新築します。 [事業期間] 令和2年度～令和3年度	
目 的	安心・安全な学童保育施設を整備することにより、適切な遊びや生活の場を与え、自主性、社会性及び創造力の向上、基本的な生活習慣の確立等を図り、児童の健全育成を推進すると共に、子育てしやすい環境を整えます。	
目 標	活動	旧笠田幼稚園舎を解体・撤去し、学童保育施設を新築します。 また、工事期間中は旧笠田幼稚園遊戯室を整備し、放課後児童の居場所を確保します。
目 標	目標	放課後や週末等における児童の安心・安全な居場所づくりを進め、子育て世代の定住を促進します。
成 果	実績	
成 果	課題等	

経 費	建築完了検査申請手数料	30千円
	笠田学童保育施設新築工事監理業務委託料	3,938千円
	笠田学童保育施設仮設工事	1,413千円
	笠田学童保育施設新築工事	105,663千円
	(計)	111,044千円
財 源	子ども・子育て支援整備交付金(国補助・基準額、82,339千円×1/3)	27,446千円
	子ども・子育て支援整備事業補助金(県補助・基準額、82,339千円×1/3)	27,446千円
	合併特例事業債(借入金、返済額のうち町負担は30%)	53,300千円
	一般財源	2,852千円

【一般会計】		事業区分	町自主事業
地域医療体制整備促進事業		本年度予算 12,000千円	
(款) 4. 衛生費	(項) 1. 保健衛生費	(目) 1. 保健衛生総務費	前年度予算 12,000千円
健康推進課 衛生係	予算書	116ページ	(増 減) 0千円
第3章 安全で安心して暮らせるまちづくり		第1節 健康に暮らせるまちづくり	第1 地域医療の充実

内 容	住民が安心して身近な場所で適切な医療が受けられるように、和歌山県立医科大学附属病院紀北分院において、専門医療の提供を行うと共に、地域の医療機関と連携して地域医療提供体制の向上を図るなど、かつらぎ町の医療課題解決の支援として運営費用の一部を補助します。 [事業期間] 平成22年度～令和4年度						
目的	大学病院として専門医療を提供することで、地域医療機関と連携した地域医療体制の向上を図り、町の医療課題解決を目的とします。						
目標	<p>活動 紀北分院は、地域の医療課題解決のため、地域医療の中核的病院として、下記の活動を行います。</p> <ul style="list-style-type: none"> ①総合診療等地域の医療動向や患者動向を考慮し診療体制を整備するほか、町民の疾病予防と健康増進のための健康講座や出前講座等で正しい知識の普及及び啓発。 ②かつらぎ町特定健診・がん検診を実施。 ③災害時の発熱者専用避難所開設のアドバイスや避難所での要観察者の対応協力。 ④糖尿病性腎症予防プログラムの保健指導の協力、3歳6か月児健診の眼科要精密健診の協力、小児科認知症疾患医療センターにおける包括支援センターとの連携など、専門医療を生かして健康課題解決のために協力。 ⑤保健師と健康課題の情報共有のために定期的にリモート会議を開催。 <p>目標 [数値目標] 健康講座講師協力回数:6回 保健師とのリモート会議:12回</p>						
成果	<table border="1"> <tr> <td>実績</td> <td></td> </tr> <tr> <td>課題等</td> <td></td> </tr> </table>			実績		課題等	
実績							
課題等							

経 費	地域医療体制整備促進事業補助金	12,000千円
	(計)	12,000千円
財 源	一般財源	12,000千円

【一般会計】		事業区分	町自主事業
小児インフルエンザ予防接種助成事業		本年度予算	2,760千円
(款) 4. 衛生費 (項) 1. 保健衛生費 (目) 2. 予防費		前年度予算	2,700千円
健康推進課 衛生係		予算書	118ページ
第3章 安全で安心して暮らせるまちづくり 第1節 健康に暮らせるまちづくり		(増 減)	60千円
		第2 病気の予防	

内 容	小児インフルエンザ予防接種費用の一部を助成します。 [対象者] 生後6か月～中学3年生 [自己負担] 1,000円×1回／1人 [実施期間] 10月1日～翌年1月31日 [事業期間] 平成29年度～		
目 的	教育機関内での感染拡大防止を図り、学級閉鎖等による履修課程の遅延防止及び看護等に対する子育て世帯の負担軽減を目的とします。		
目 標	活動	広報掲載 町内医療機関(11機関), 町内教育機関等でのポスター掲示(約20か所) 町外医療機関への協力依頼文発送(約15機関) 個別通知(対象約1,700人)	
成 果	目標	接種率の向上を目指します。 R3年度[目標]：対象者1,750人 申請者870人（申請率49.7%） H31年度[実績]：対象者1,431人 申請者580人（申請率40.5%）	
実績			
課題等			

經 費	小児インフルエンザ予防接種委託料 小児インフルエンザ予防接種助成費	1,980千円 780千円
	(計)	2,760千円
財 源	一般財源	2,760千円

【一般会計】		事業区分	町自主事業	
新規 下志賀地区飲料水供給施設整備事業		(増 減) 800千円	本年度予算 800千円	
(款) 4. 衛生費 (項) 1. 保健衛生費 (目) 3. 環境衛生費			前年度予算 0千円	
健康推進課 衛生係	予算書 120ページ			
第3章 安全で安心して暮らせるまちづくり		第4節 安全・安心のまちづくり	第3 上下水道の整備、し尿の収集・処理	

内 容	<p>下志賀地区の飲料水は、谷川からの取り水や各戸で設置した井戸水が中心となっているため、長年に渡り当該地区より飲料水供給施設の設置を強く要望されています。</p> <p>令和元年度には、水源地候補の井戸掘削を行ったものの、水が出なかったため、断念しましたが、新たな水源を設定すべく再度調査を行います。</p> <p>地元としては、飲料水供給設備設置後は町の管理を望んでおり、工事を複数年で実施し、完了後は町で管理する方向で調整しております。</p> <p>[事業期間] 令和3年度～</p>	
目 的	下志賀区の住民にとって大切なライフラインである飲料水供給設備を整備し、安全・安心な生活を実現します。	
目 標	活動	[活動内容] ・令和3年度 水源調査 ・令和4年度以降 実施設計・工事
	目標	令和4年度以降に設備の整備を行うため、水源地を確保します。
成 果	実績	
	課題等	

經 費	下志賀地区飲料水供給施設水源調査業務委託料	800千円
	(計)	800千円
財 源	一般財源	800千円

【一般会計】		事業区分	町自主事業
新規	山崎地区飲料水供給施設整備事業		本年度予算 800千円
(款) 4. 衛生費	(項) 1. 保健衛生費 (目) 3. 環境衛生費		前年度予算 0千円
健康推進課 衛生係		予算書 120ページ	(増 減) 800千円
第3章 安全で安心して暮らせるまちづくり	第4節 安全・安心のまちづくり	第3 上下水道の整備、し尿の収集・処理	

内 容	<p>山崎地区的飲料水供給施設は、地元が紀の川の伏流水を汲み上げる設備を整備し、地元管理で運用してきました。</p> <p>今回、地域の高齢化に伴い、水道設備の維持管理を町にお願いしたいとの要望がありました。</p> <p>現在の飲料水供給施設を町で管理するには配管延長が長すぎるため、途中で新たな水源地を確保する必要があります。</p> <p>令和3年度においては、新たな水源地候補について、調査を行います。</p> <p>[事業期間] 令和3年度～</p>	
目的	山崎区の住民にとって大切なライフラインである飲料水供給設備を整備し、安全・安心な生活を実現します。	
目標	活動	[活動内容] ・令和3年度 水源調査 ・令和4年度以降 実施設計・工事
目標	目標	令和4年度以降に設備の整備を行うため、水源地を確保します。
成果	実績	
課題等		

経 費	山崎地区飲料水供給施設水源調査業務委託料	800千円
	(計)	800千円
財 源	一般財源	800千円

【一般会計】		事業区分	町自主事業
新規	中飯降墓地改修事業		本年度予算 1,987千円
(款) 4. 衛生費	(項) 1. 保健衛生費 (目) 3. 環境衛生費		前年度予算 0千円
住民福祉課 生活環境係		予算書 120ページ	(増 減) 1,987千円
第1章 豊かな自然と歴史・文化のまちづくり	第1節 環境にやさしいまちづくり		第2 クリーンなまちづくりの推進

内 容	かつらぎ町中飯降墓地の改修工事を行います。 [工事内容] 擁壁の補修、沈下部及び法面部分の土壌改良、U字溝設置、暗渠排水管、立入防止柵設置等 [事業期間] 令和3年度	
目 的	昭和54年に町が地方改善施設整備事業により移転整備した中飯降墓地の南側において、数年前より地盤沈下が発生しています。 調査を行ったところ排水するための設備がなく、整備当時の工事設計書に瑕疵があったことが判明しました。 そのため、町の責任において改修工事を施し、施工後は、地元管理が適切に行われ、長期的に使用できる状態にすることを目的とします。	
目 標	活動	沈下部等の土壌改良及びU字溝設置等の改修工事を行います。
	目標	適切な改修を実施することにより、安全性を確保します。
成 果	実績	
	課題等	

経 費	中飯降墓地改修工事	1,987千円
	(計)	1,987千円
財 源	一般財源	1,987千円

【一般会計】		事業区分	国の制度等		
拡充 乳児全戸訪問・養育支援訪問事業		(款) 4. 衛生費 (項) 1. 保健衛生費 (目) 4. 母子保健費	本年度予算	770千円	
			前年度予算	412千円	
健康推進課 衛生係			(増 減)	358千円	
第3章 安全で安心して暮らせるまちづくり		予算書	121ページ	第1 出産・子育て環境の充実	

内 容	子育てに関する不安や悩みの軽減のため、乳児全戸訪問及び養育支援訪問を行います。 [乳児全戸訪問] 4か月児健診までの乳児を持つ家庭に保健師による全戸訪問を実施 [養育支援訪問] 育児不安や産後うつにより養育上必要と認めた家庭に訪問支援を実施 ・育児・家事援助としてヘルパー等の訪問支援 ・専門的相談支援として保健師・助産師の訪問支援 ・母乳育児不安を持つ産婦への助産師の訪問支援 [事業期間] 平成26年度～	
目的	子育てについての不安や悩みを軽減することで、虐待を予防し、安心して子育てできること環境を整えることを目的とします。	
目標	活動	[活動内容] ・出生届け出時に全戸訪問対象者を把握し、100%実施を継続します。 ・ハイリスク産婦の対応を100%実施します。 ・必要に応じ、医療機関と連携し、子育てをサポートします。 ・遠方への里帰り中の産婦を確認したら、速やかに相手方市町村へ依頼します
目標	目標	全戸訪問により、養育支援の必要な家庭を把握し、支援を行い、産後うつ、虐待の予防を図ります。また、養育支援訪問により、産後うつの重症化を防ぎ、産婦の命を守ります。 [数値目標] 全戸訪問 実施率100%
成果	実績	
成果	課題等	

経 費	養育支援訪問家事育児支援委託料 養育支援訪問委託料 その他事務費 (計)	180千円 490千円 100千円 770千円
財 源	子ども・子育て支援交付金事業補助金(国補助、770千円×1/3) 子ども・子育て支援交付金事業補助金(県補助、770千円×1/3) 一般財源	256千円 256千円 258千円

【一般会計】		事業区分	町自主事業	
新規 保健福祉センター空調改修事業		(款) 4. 衛生費 (項) 1. 保健衛生費 (目) 5. 保健福祉センター管理費	本年度予算 62,111千円	
			前年度予算 0千円	
			(増 減) 62,111千円	
第3章 安全で安心して暮らせるまちづくり		予算書 122ページ	第2 病気の予防	
第1節 健康に暮らせるまちづくり				

内 容	<p>かつらぎ町保健福祉センターは、築20年が経過し、施設及び設備の劣化も目立ってきています。</p> <p>特に空調設備については、現在2系統で子育て支援センターを除く全館を賄っておりますが、内1系統に動作不良が発生しており、空調設備の使用に支障をきたしております。</p> <p>残り1系統も現在は稼働しているものの、経年劣化が進んでいることから、すべての空調設備の交換を実施します。</p> <p>[事業期間] 令和3年度</p>		
目的	<p>保健福祉センターは本町の保健衛生事業の拠点施設として集団検診等を行っている施設であるとともに、災害時における感染症患者の避難施設となっております。</p> <p>今回、除菌機能のあるエアコンに交換することにより、新型コロナウイルス感染症の対策として、施設使用者の安全性を確保します。</p>		
活動	令和3年度で設計、施工を行い、年度末までに完了を予定しております。		
目標	空調改修に伴い、ガス空調を導入することにより、災害発生時に電力等のライフラインが途絶した場合においても、安定的に空調を稼働することが可能となります。		
成績			
課題等			

経 費	保健福祉センター空調設備改修工事設計監理業務委託料	5,000千円
	保健福祉センター空調設備改修工事	57,111千円
	(計)	62,111千円
財 源	LPガス災害バルク等導入補助金(雑入)	31,055千円
	合併特例事業債(借入金、返済額のうち町負担は30%)	29,500千円
	一般財源	1,556千円

【一般会計】		事業区分	町自主事業
新型コロナウイルス感染症相談総合窓口設置事業		本年度予算	4,757千円
(款) 4. 衛生費	(項) 1. 保健衛生費	(目) 8. 新型コロナウイルス感染症対策事業費	前年度予算 0千円
健康推進課 衛生係		予算書 125ページ	(増 減) 4,757千円
第3章 安全で安心して暮らせるまちづくり		第4節 安全・安心のまちづくり	第2 病気の予防

内 容	<p>新型コロナウイルス感染症に係る国、県、町の施策に関する町民からの相談、質問を総合的に対応する窓口として新型コロナウイルス感染症対策総合窓口を設置しています。</p> <p>令和2年度においては、地域振興クーポンの交換事務、持続化給付金申請事務、補助金申請事務等について、関連課室と連携し、運営しています。</p> <p>令和3年度においても、新型コロナウイルス感染症対策に係る施策は継続が予想されるため、引き続き窓口を設置します。</p> <p>[事業期間] 令和2年度～</p>	
目 的	町民からの相談を総合的かつ早急に対応することにより、安全安心な住民生活を確保します。	
目 標	活動	会計年度任用職員を2名採用し、新型コロナウイルス感染症相談総合窓口の設置を行います。
	目標	新型コロナウイルス感染症に関する問い合わせ窓口を一元化することで、町民からの相談に対して、総合的かつ早急な対応を可能とします。
成 果		
	課題等	

経 費	会計年度任用職員報酬・手当等	4,657千円
	消耗品費	100千円
	(計)	4,757千円
財 源	会計年度任用職員雇用保険個人負担金	12千円
	一般財源	4,745千円

【一般会計】		事業区分	国の制度等
新型コロナワクチン接種体制確保事業		本年度予算 98,159千円	
(款) 4. 衛生費 (項) 1. 保健衛生費 (目) 8. 新型コロナウイルス感染症対策事業費		前年度予算 0千円	
健康推進課 衛生係		予算書 125ページ	(増 減) 98,159千円
第3章 安全で安心して暮らせるまちづくり 第1節 健康に暮らせるまちづくり		第2 病気の予防	

内 容	新型コロナワクチン接種について、ワクチンの接種体制を整え、円滑に多くの町民への接種を行います。 [実施方法] 医療機関で行う個別接種 接種会場を設定しての集団接種 [接種対象] 16歳以上の全町民(予定) [事業期間] 令和2年度 ~	
目 的	新型コロナワクチンを安全かつ迅速に接種することができる環境を整えることで、町民が安全安心に暮らせるまちづくりを実現します。	
目 標	活動	[活動内容] ・ワクチンの接種体制の整備 ・接種対象の町民への接種クーポンの発送 ・集団及び個別接種の予約管理
目 標	目標	ワクチン接種体制での事故等の発生を0%とします。 ワクチン接種率70%を目指します。
成 果	実 績	
成 果	課 題 等	

經 費	医師報償費・看護師報償費 新型コロナワクチン接種委託料 医療廃棄物処理委託料 新型コロナワクチン接種体制整備業務委託料 ワクチン接種用備品 その他事務費 (計)	13,536千円 65,123千円 428千円 14,492千円 693千円 3,887千円 98,159千円
財 源	新型コロナワクチン接種体制確保事業補助金(国補助、98,159千円 × 10/10)	98,159千円

【一般会計】		事業区分	町自主事業
ごみ収集車両購入事業		本年度予算	7,060千円
(款) 4. 衛生費	(項) 2. 清掃費	(目) 2. じん芥処理費	前年度予算 0千円
住民福祉課 生活環境係	予算書	128ページ	(増減) 7,060千円
第1章 豊かな自然と歴史・文化のまちづくり	第1節 環境にやさしいまちづくり	第2 クリーンなまちづくりの推進	

内容	一般廃棄物収集業務に使用しているごみ収集車1台について、老朽化による修繕費が嵩んでおり、エンジントラブル等も発生していることから、車両の更新を行います。 [事業期間] 令和3年度	
目的	一般廃棄物の収集に使用するごみ収集車両の更新を行うことにより、安定した廃棄物収集の実施が可能となり、環境にやさしいまちづくりの実現を図ります。	
目標	活動	ごみ収集車 1台の更新
目標	目標	老朽化が進んでいるごみ収集車の更新を行うことにより、安定した廃棄物収集を実施します。
成果	実績	
成果	課題等	

経費	車登録手数料	10千円
	自賠責保険料	32千円
	ごみ収集車	7,000千円
	自動車重量税	18千円
	(計)	
財源	7,060千円	
	過疎対策事業債(借入金、返済額のうち町負担は30%)	6,600千円
	一般財源	460千円

【一般会計】			事業区分	国の制度等
合併処理浄化槽設置補助事業				本年度予算 25,426千円
(款) 4. 衛生費 (項) 2. 清掃費 (目) 3. し尿処理費				前年度予算 27,075千円
住民福祉課 生活環境係		予算書	129ページ	(増減) △ 1,649千円
第3章 安全で安心して暮らせるまちづくり		第4節 安全・安心のまちづくり		第3 上下水道の整備、し尿の収集・処理

内 容	公共下水道認可区域(整備済を除く)及び認可区域以外に合併処理浄化槽を設置する者に対して、下記の補助金を交付します。 また、設置場所が都市計画区域内の場合に限り、上乗せ補助を行います。 (通常の補助金額) (上乗せ補助金額)												
	<table> <tr> <td>5人槽</td> <td>332,000円</td> <td>+</td> <td>166,000円</td> </tr> <tr> <td>7人槽</td> <td>414,000円</td> <td>+</td> <td>207,000円</td> </tr> <tr> <td>10人槽</td> <td>548,000円</td> <td>+</td> <td>274,000円</td> </tr> </table>		5人槽	332,000円	+	166,000円	7人槽	414,000円	+	207,000円	10人槽	548,000円	+
5人槽	332,000円	+	166,000円										
7人槽	414,000円	+	207,000円										
10人槽	548,000円	+	274,000円										
[事業期間] 平成8年度 ~													
目的	設置者に対し、下水道と同等の水質浄化機能を有する合併処理浄化槽の設置費用の一部を補助することで、下水道未整備地域における、住民の健康で快適な生活環境の確保、及び生活排水による公共水域の水質汚濁防止を図ります。												
目標	活動	補助金による個人負担の軽減と、家庭排水の水質を改善することで水質汚濁防止につながることなど、広報等により更なる周知を図ります。											
	目標	汚水処理人口普及率の向上を図ります。											
成果	実績												
	課題等												

経 費	合併処理浄化槽設置補助金	16,856千円
	公共下水道認可区域内合併処理浄化槽設置補助金	2,074千円
	都市計画区域内合併処理浄化槽設置補助金	6,496千円
	(計)	25,426千円
財 源	循環型社会形成推進交付金(国補助、16,856千円×1/3)	5,618千円
	合併処理浄化槽設置県補助金(県補助、16,856千円×1/3)	5,618千円
	過疎対策事業債(借入金、返済額のうち町負担は30%)	2,900千円
	一般財源	11,290千円

【一般会計】		事業区分	町自主事業
新規	笠田中用地利用基本構想策定業務委託		本年度予算 8,000千円
(款) 6. 農林水産業費 (項) 1. 農業費 (目) 3. 農業振興費			前年度予算 0千円
産業観光課 商工観光係		予算書 132ページ	(増 減) 8,000千円
第2章 地域の特性を生かした活力あるまちづくり	第1節 活力を生むまちづくり		第1 地域特性を生かした農林業の展開

内容	優良農地とするため土地改良を進めてきた笠田中用地について、農用地以外の活用について検討するため、調査を行い、基本構想を作成します。 [事業期間] 令和3年度	
目的	国道480号鍋谷トンネル開通や京奈和自動車道の延伸などに伴い、町外や県外とのアクセスが向上している状況を踏まえ、地域活性化を目的とした農用地以外の活用方法について検討します。	
目標	活動	農用地以外の活用を検討するため、用地について基礎的な調査を実施します。また、検討を進めるにあたり、県をはじめとする関連団体との連携を図ります。
目標	目標	調査結果をもとに、活用方法の検討を行います。
成果	実績	
成果	課題等	

経費	笠田中用地利用基本構想策定業務委託料	8,000千円
	(計)	8,000千円
財源	一般財源(うち、ふるさとかつらぎ基金繰入金 5,000千円)	8,000千円

【一般会計】		事業区分	町自主事業
日本一の果樹産地づくり事業			本年度予算 5,000千円
(款) 6. 農林水産業費 (項) 1. 農業費 (目) 4. 園芸振興費			前年度予算 5,000千円
産業観光課 農業振興係		予算書 134ページ	(増 減) 0千円
第2章 地域の特性を生かした活力あるまちづくり		第1節 活力を生むまちづくり	第1 地域特性を生かした農林業の展開

内 容	<p>県補助事業である「日本一の果樹産地づくり事業」を実施する農業者や農業協同組合、農業者をもって組織する団体等に対し、補助金を交付します。</p> <p>[町補助率]整備事業(ハード事業):1/3以内(上限50万円) [県補助率]整備事業(ハード事業):1/3以内 (※県補助金は、事業実施主体へ直接交付されます。) [事業期間] 平成31年度 ~</p>		
目 的	果樹園における優良園地化を進めるため、戦略品種の早期産地化を目指した改植・高接の促進や、輸出専用産地の育成、高品質化につながる施設の導入、クビアカツヤカミキリの防除対策等の取組を総合的に支援し、果樹園地の振興を図ります。		
目 標	活動	JA紀北かわかみや伊都振興局との連携を深め、伝えるネットや広報等による本事業の周知徹底に努めます。	
目 標	目標	<p>本事業の利用者数の増加を目指します。</p> <p>[実施件数] (R3) 20件 21事業 (R2) 14件 19事業 (H31) 17件 19事業</p>	
成 果	実績		
	課題等		

経 費	日本一の果樹産地づくり事業補助金	5,000千円
	(計)	5,000千円
財 源	一般財源(うち、ふるさとかつらぎ基金繰入金 4,000千円)	5,000千円

【一般会計】		事業区分	町自主事業
農作物鳥獣害防止総合対策事業			本年度予算 25,600千円
(款) 6. 農林水産業費 (項) 1. 農業費 (目) 9. 耕作放棄地対策推進事業費			前年度予算 22,945千円
産業観光課 林業振興係 産業観光課 農業振興係	予算書 136ページ		(増 減) 2,655千円
第2章 地域の特性を生かした活力あるまちづくり		第1節 活力を生むまちづくり	第1 地域特性を生かした農林業の展開

内 容	有害鳥獣から農作物を守り、また有害鳥獣の増加を抑制するため、捕獲等に関する取り組みと防護柵の設置等に関する取組を行います。 [事業期間] 平成23年度 ~	
目的	野生鳥獣による農作物等への被害を防止するとともに、適正な有害捕獲・狩猟の実施と事故防止を図ることを目的としています。	
目標	活動	対象者に対して、広報等により本事業の周知徹底に努めます。
	目標	[数値目標] 実施隊による有害鳥獣捕獲数 イノシシ 844頭・ニホンジカ 176頭 狩猟免許の新規取得者 15名程度 防護柵設置数 県補助事業 11件・町単独事業 74件
成果	実績	
	課題等	

経 費	鳥獣被害対策実施隊報酬等	1,102千円
	有害鳥獣捕獲業務委託料	300千円
	狩猟免許取得支援事業補助金(県補助分)	100千円
	農作物鳥獣害防止対策事業補助金(町単独分)	4,039千円
	防護柵設置支援事業補助金	3,600千円
	わな設置支援事業補助金(国補助/町単独)	579千円
	有害鳥獣捕獲支援事業補助金	15,880千円
	(計)	25,600千円
財 源	防護柵設置支援事業補助金(県補助、5,400千円 × 1/3)	1,800千円
	狩猟免許取得支援事業補助金(県補助、10千円 × 10人)	100千円
	有害鳥獣捕獲事業等補助金(県補助、3,949千円 × 10/10)	3,949千円
	緊急捕獲活動支援事業補助金(国補助、4,266千円 × 10/10)	4,266千円
	一般財源	15,485千円

【一般会計】		事業区分	国の制度等
地域おこし協力隊事業(援農・就農、移住支援業務)		本年度予算 3,792千円	
(款) 6. 農林水産業費 (項) 1. 農業費 (目) 13. 地域おこし支援費		前年度予算 3,154千円	
産業観光課 農業振興係	予算書 138ページ	(増 減) 638千円	
第2章 地域の特性を生かした活力あるまちづくり	第1節 活力を生むまちづくり	第4 移住・定住施策の推進	

内 容	3大都市圏をはじめとする都市住民を地域おこし協力隊として委嘱し、「地域協力活動」を展開してもらい、地域活性化につなげます。 [活動内容] 援農・就農、移住支援 [事業期間] 令和2年度 ~
目的	地域外の人材を誘致し、地域おこしを推進することにより、地域経済の活性化、地域力の維持・強化とともに、当該人材の定住・定着を図ります。
目標	活動 [活動内容] ・援農隊と受入農家とのマッチング ・宿泊場所の準備等、援農隊の活動の支援 ・援農隊の移住支援 目標 季節に応じた農業の活動に応じて、援農隊に来てもらいやすい環境を整え、不足している農業人材を確保し、地域力の維持・強化を図ります。
成果	実績 課題等

経 費	地域おこし協力隊報償費 車リース料 地域おこし協力隊活動用旅費 地域おこし協力隊活動交付金 その他事務費 (計)	2,400千円 660千円 111千円 338千円 283千円 3,792千円
財 源	一般財源(全額が特別交付税の対象)	3,792千円

【一般会計】		事業区分	県の制度等
広域営農団地農道整備事業負担金			本年度予算 14,169千円
(款) 6. 農林水産業費 (項) 1. 農業費 (目) 15. 農道新設改良費			前年度予算 0千円
建設課 事務係	予算書 141ページ		(増 減) 14,169千円
第2章 地域の特性を生かした活力あるまちづくり	第1節 活力を生むまちづくり		第1 地域特性を生かした農林業の展開

内 容	県営紀の川左岸広域営農団地農道整備事業の事業費に対して、各市町の延長に応じて負担します。 当初事業計画は、令和2年度完了予定で進めておりましたが、工事区間内で地すべりが発生し、対策工事費が必要となったため、令和3年度で本線道路工事に係る事業費に対して負担します。 負担割合は51.524%で、そのうち工事費の11%を負担します。 [事業期間] 平成28年度～令和3年度	
目 的	橋本・伊都地域の農作物の流通の合理化と、河南地域の広域的な交通ネットワークを構築し、地域活性化を図ります。	
目 標	活動	事業区間 橋本市清水～かつらぎ町西渋田 延長・規格 L=18.036km W=6.5～7.0m(2車線)
目 標	目標	本地域へのアクセスの鍵となる交通ネットワークを確立するとともに、観光農園化への転換など経営形態の革新をはかることにより、「高野山麓フルーツの里」としての確立を通じた地域活性化を図ります。
成 果	実績	
	課題等	

經 費	広域営農団地農道整備事業負担金	14,169千円
	(計)	14,169千円
財 源	過疎対策事業債(借入金、返済額のうち町負担は30%)	13,400千円
	一般財源	769千円

【一般会計】		事業区分	国の制度等
新規	農村地域防災減災事業(ため池劣化状況評価・豪雨耐性評価業務委託)	(款) 6. 農林水産業費 (項) 1. 農業費 (目) 16. 農村地域防災減災事業費	本年度予算 5,000千円
(款) 6. 農林水産業費 (項) 1. 農業費 (目) 16. 農村地域防災減災事業費	建設課 管理係	予算書 141ページ	前年度予算 0千円
(増 減) 5,000千円	第3章 安全で安心して暮らせるまちづくり	第4節 安全・安心のまちづくり	第1 防災対策・体制の強化

内 容	防災重点農業用ため池について、劣化及び豪雨によるため池の決壊の危険性を評価します。 [事業期間] 令和3年度～令和5年度 令和3年度 6池 令和4年度 16池 令和5年度 16池 計38池 [負担割合] 県費100%
目的	防災重点農業用ため池の劣化状況評価・豪雨耐性評価を行うことで、決壊による災害から住民の生命及び財産を保護します。
目標	活動 浸水想定区域内に公共施設等が多く該当する池から順に評価を実施します。 目標 劣化状況評価・豪雨耐性評価の結果を得て、防災減災の推進を図ります。
成果	実績 課題等

経 費	ため池劣化状況評価・豪雨耐性評価業務委託料 (計)	5,000千円 5,000千円
財 源	農村地域防災減災事業補助金(県補助、5,000千円×10/10)	5,000千円

【一般会計】		事業区分	国の制度等
農村地域防災減災事業(県営ため池改修事業)			本年度予算 5,500千円
(款) 6. 農林水産業費 (項) 1. 農業費 (目) 16. 農村地域防災減災事業費			前年度予算 8,930千円
建設課 管理係		予算書 141ページ	(増 減) △ 3,430千円
第3章 安全で安心して暮らせるまちづくり		第4節 安全・安心のまちづくり	第1 防災対策・体制の強化

内 容	<p>・畠谷池 堤体(堤高10.2m 堤頂巾2.0m 堤頂長133.0m)等の全面改修を行います。</p> <p>[事業費] 令和3年度 55,000千円 負担金 5,500千円 [負担割合] 国55%・県35%・町5%・地元5% [事業期間] 平成30年度～令和3年度</p>	
目 的	近く発生が予測される東海・東南海・南海地震及び近年頻発している台風や集中豪雨等による決壊を未然に防ぎます。	
目 標	活動	県が実施する畠谷池の改修事業に対し、負担金を支出します。 [事業費] 55,000千円 × 10% (町・地元負担分)
	目標	ため池を改修することにより、下流域への被災を防止します。
成 果	実績	
	課題等	

經 費	ため池改修事業負担金	5,500千円
	(計)	5,500千円
財 源	ため池改修事業負担金	2,750千円
	公共事業等債(借入金、返済額のうち町負担は55%)	2,400千円
	一般財源	350千円

【一般会計】		事業区分	町自主事業
森林管理意向調査等業務委託			本年度予算 4,150千円
(款) 6. 農林水産業費 (項) 2. 林業費 (目) 1. 林業総務費			前年度予算 3,542千円
産業観光課 林業振興係		予算書 142ページ	(増 減) 608千円
第2章 地域の特性を生かした活力あるまちづくり		第1節 活力を生むまちづくり	第1 地域特性を生かした農林業の展開

内 容	平成31年4月より新たな森林管理システムが始まり、経営管理がされていない人工林の私有林において、自ら経営管理を行う意向があるか調査を行います。 所有者から経営管理を希望された町は経営管理集積計画を定めます。 [事業期間] 平成31年度 ~		
目 的	所有者から経営管理の希望があった森林において、林業経営に適した森林は和歌山県が選定する「意欲と能力のある林業事業体」に経営管理を再委託します。 また、林業経営に適さない森林については町が管理をすることにより、林業の発展と森林の持つ多面的機能の発揮を促進します。		
目 標	活動	<ul style="list-style-type: none"> ・森林管理意向調査の実施 ①資料収集…森林所有者の氏名、住所や森林の施業履歴等の情報を収集 ②意向調査の対象森林を抽出(対象森林の洗い出し) ③意向調査対象森林の選定(優先順位を決定) ・経営管理集積計画の作成 ①意向調査の回答において所有者から経営管理を希望された森林について、経営管理集積計画を作成 	
目 標	目標	<p>放置され手入れが行き届いていない森林が増える事により、森林の持つ多面的機能が十分に発揮されなくなってしまうおそれがあるため、自ら経営を行えない森林所有者から経営管理を受託できる環境を整える事で、リスクを未然に解消します。</p> <p>[目標]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・森林意向調査等…190ha ・経営管理集積計画の作成…90ha 	
成 果	実績		
成 果	課題等		

經 費	森林管理意向調査等業務委託料	4,150千円
	(計)	4,150千円
財 源	一般財源(森林環境譲与税充当対象)	4,150千円

【一般会計】		事業区分	町自主事業
環境林基盤整備事業補助金			本年度予算 14,145千円
(款) 6. 農林水産業費 (項) 2. 林業費 (目) 1. 林業総務費			前年度予算 10,750千円
産業観光課 林業振興係		予算書 143ページ	(増 減) 3,395千円
第2章 地域の特性を生かした活力あるまちづくり		第1節 活力を生むまちづくり	第1 地域特性を生かした農林業の展開

内 容	和歌山県が定めている森林ゾーニングにおける環境林を対象として施業を進めます。 木材搬出が困難な森林での切り捨て間伐(環境林特化)や風倒木等の除去等を通じた作業道の復旧等について補助します。 [事業期間] 平成31年度 ~		
目的	森林の持つ国土保全、水源の涵養等の多面的機能を十分に発揮させる為に間伐施業を進め、環境保全の為に森林を育てます。		
目 標	活動	下記の取り組みに対して、補助します。 ①切り捨て間伐の実施に係る支援 ②風倒木の除去等に係る支援 ③作業道の復旧に係る支援 ④竹林整備の実施に係る支援	
目 標	目標	森林災害の防止と森林環境の改善の観点から間伐施業を推進し、山林の有する多面的機能を維持します。 また、台風等の自然災害により作業道に支障が発生し、間伐施業が中断してしまう事案について、当該補助金を適用する事で円滑に事業を継続します。 [目標] ・切り捨て間伐支線: 102ha ・作業道の復旧支援: 900m × 幅員2.5m(路面整理)、100m(路肩補修)	
成 果	実績		
	課題等		

経 費	環境林基盤整備事業補助金	14,145千円
	(計)	14,145千円
財 源	一般財源(森林環境譲与税充当対象)	14,145千円

【一般会計】		事業区分	町自主事業
森林再生統合事業補助金			本年度予算 13,681千円
(款) 6. 農林水産業費 (項) 2. 林業費 (目) 1. 林業総務費			前年度予算 17,684千円
産業観光課 林業振興係		予算書 143ページ	(増 減) △ 4,003千円
第2章 地域の特性を生かした活力あるまちづくり		第1節 活力を生むまちづくり	第1 地域特性を生かした農林業の展開

内 容	<p>和歌山県が定めている森林ゾーニングにおける経済林を対象として施業を進めます。 間伐流通、木材搬出が困難な森林での切り捨て間伐等の森林環境保全整備事業について補助します。</p> <p>[事業期間] 平成31年度 ~</p>		
目 的	<p>森林の持つ国土保全、林産物の供給等の多面的機能を十分に發揮させ山地災害に強い森林を作り、林業市場の維持・拡大を目指します。</p>		
活 動	<p>下記の取り組みに対して、補助します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ①伐採場所から町内集積場への搬出した間伐材の輸送に係る支援 ②間伐及び作業道の復旧及び設置に係る支援 		
目 標	<p>森林災害の防止と森林環境の改善の観点から間伐施業を推進し、山林の有する多面的機能を維持します。</p> <p>[目標]</p> <ul style="list-style-type: none"> ①間伐材流通支援:3,300m³ ②森林環境保全整備事業支援:間伐 157ha／作業道 1,800m 		
成 果	<p>実績</p>		
	<p>課題等</p>		

經 費	森林再生統合事業補助金	13,681千円
	(計)	13,681千円
財 源	一般財源(うち、森林環境譲与税充当対象 4,184千円)	13,681千円

【一般会計】		事業区分	町自主事業	
新規 世界遺産の森林を守ろう基金事業交付金		(増 減) 1,000千円	本年度予算 1,000千円	
(款) 6. 農林水産業費 (項) 2. 林業費 (目) 1. 林業総務費			前年度予算 0千円	
産業観光課 林業振興係	予算書 143ページ		(増 減) 1,000千円	
第2章 地域の特性を生かした活力あるまちづくり		第1節 活力を生むまちづくり	第1 地域特性を生かした農林業の展開	

内 容	世界遺産に登録された「紀伊山地の霊場と参詣道」周辺の森林において、公有林等のシンボリックな場所の整備・保全を行う事業に対し補助します。 [事業期間] 令和3年度 ~	
目 的	公有林等のシンボリックな場所の整備・保全を実施することにより、世界遺産の森林を守ります。	
目 標	活動	景観維持や下刈り、間伐等の経費に対して補助します。
	目標	世界遺産「紀伊山地の霊場と参詣道」の一部である高野参詣道町石道沿いの山林を整備します。 ・整理間伐: 5ha(教良寺地内)
成 果	実績	
	課題等	

經 費	世界遺産の森林を守ろう基金事業交付金	1,000千円
	(計)	1,000千円
財 源	世界遺産の森林を守ろう基金事業交付金(雑入)	1,000千円

【一般会計】		事業区分	国の制度等
地域おこし協力隊事業			本年度予算 8,742千円
(款) 6. 農林水産業費 (項) 2. 林業費 (目) 6. 山村地域おこし支援費			前年度予算 15,776千円
産業観光課 林業振興係 花園地域振興課 振興係		予算書 145ページ	(増減) △ 7,034千円
第2章 地域の特性を生かした活力あるまちづくり		第1節 活力を生むまちづくり	第4 移住・定住施策の推進

内 容	3大都市圏をはじめとする都市住民を地域おこし協力隊として委嘱し、「地域協力活動」を展開してもらい、地域活性化につなげます。また、任期満了を迎える協力隊員の起業に対して支援を行います。 [配属状況] 天野地区 1名、花園地区 2名 [事業期間] 平成22年度 ~		
目 的	地域外の人材を誘致し、地域おこしを推進することにより、地域経済の活性化、地域力の維持・強化とともに、当該人材の定住・定着を図ります。		
目 標	活動	[活動内容] ・各地域の実情に応じた課題の解決に係る活動を行います。 ・任期満了を迎える協力隊員が町内において起業するための支援を行います。	
目 標	目標	地域おこし協力隊の活動を通じ、地域課題を解決することにより、地域力の維持・強化を図ります。	
成 果	実 績		
成 果	課 題 等		

経 費	地域おこし協力隊報償費	5,400千円
	車リース料	757千円
	地域おこし協力隊活動用備品	120千円
	地域おこし協力隊起業支援補助金	1,000千円
	地域おこし協力隊活動交付金	896千円
	その他事務費	569千円
	(計)	8,742千円
財 源	一般財源(全額が特別交付税の対象)	8,742千円

【一般会計】		事業区分	町自主事業
拡充	起業支援事業		本年度予算 11,644千円
(款) 7. 商工費	(項) 1. 商工費	(目) 1. 商工総務費	前年度予算 15,025千円
産業観光課 商工観光係		予算書 147ページ	(増 減) △ 3,381千円
第2章 地域の特性を生かした活力あるまちづくり		第1節 活力を生むまちづくり	第2 魅力ある商工業の振興

内 容	町内の起業を考えて町内に移住・居住する個人又は町内に新たに事業所等を設置する法人に対して、最大550万円(補助対象経費の4分の3以内 * 要件加算有り)の事業資金を補助します。 [補助金額] 起業支援補助金 令和3年度分 11,000千円 令和2年度分 604千円 [事業期間] 平成27年度～令和5年度		
目的	起業者の町内への定住・定着を図り、町内での雇用の創出・雇用の場の確保し、町内事業者の起業育成を促進することで、産業の活性化、生活環境の向上を目指します。		
目標	活動	担当課において起業に関する個別相談に対応し、事業計画書作成に関しては商工会の経営指導員などを紹介します。PR活動については町広報及び中小機構のサイト「J-Net21」で実施します。	
目標	目標	近隣市町にはない補助金事業である本事業により、本町域内において本町居住者による新規起業者の増加を目指します。 [数値目標] 新規起業者数 2件 令和2年度3件(申請5件) 平成31年度2件(申請3件)	
成果	実績		
	課題等		

経 費	起業支援事業審査委員報償費	31千円
	起業支援事業審査委員旅費	9千円
	起業支援事業補助金	11,604千円
	(計)	11,644千円
財 源	一般財源(うち、ふるさとかつらぎ基金繰入金 8,000千円)	11,644千円

【一般会計】			事業区分	国の制度等
地域おこし協力隊事業(ふるさと特産品 開発・販売支援)			本年度予算 4,051千円	
(款) 7. 商工費	(項) 1. 商工費	(目) 2. 地域おこし支援費	前年度予算 3,391千円	
企画公室 まちづくり推進係	予算書	148ページ	(増 減) 660千円	
第2章 地域の特性を生かした活力あるまちづくり	第1節 活力を生むまちづくり		第4 移住・定住施策の推進	

内容	3大都市圏をはじめとする都市住民を地域おこし協力隊として委嘱し、「地域協力活動」を展開してもらい、地域活性化につなげます。 [活動内容] 地域産品の開発やプラッシュアップ、販路開拓、情報発信活動等 [事業期間] 令和2年度 ~	
目的	地域外の人材を誘致し、地域おこしを推進することにより、地域経済の活性化、地域力の維持・強化とともに、当該人材の定住・定着を図ります。	
目標	活動	[活動内容] ・事業者訪問・連携による特産品開発 ・生産者や事業者と連携した特産品のプラッシュアップ ・流通・小売業者の開拓、地域事業者とのマッチングによる特産品の販売ルート確立 ・ふるさと納税ポータルサイトの説明文、写真の充実 ・ふるさと納税返礼品カタログの企画、等
	目標	地域産品の発掘や販路開拓、情報発信を通じて、地域経済を活性化し、地域力の維持・強化を図ります。
成果	実績	
	課題等	

経費	地域おこし協力隊報償費	2,400千円
	職員旅費	136千円
	車リース料	660千円
	地域おこし協力隊活動用備品	110千円
	地域おこし協力隊活動交付金	492千円
	その他事務費	253千円
	(計)	4,051千円
財源	一般財源(全額が特別交付税の対象)	4,051千円

【一般会計】		事業区分	町自主事業
新規	観光案内・PR業務委託		本年度予算 4,622千円
(款) 7. 商工費	(項) 2. 観光事業振興費	(目) 1. 観光事業振興費	前年度予算 0千円
産業観光課 商工観光係		予算書 149ページ	(増 減) 4,622千円
第2章 地域の特性を生かした活力あるまちづくり		第1節 活力を生むまちづくり	第3 観光・サービス業の育成

内容	県内外のイベントや催事への出店によるかつらぎ町や町内の産物・観光資源のPR、周遊コースの構築とそのパンフレットの作成、観光問い合わせ対応や観光情報の発信などの業務を外部委託します。 [事業期間] 令和3年度 ~	
目的	かつらぎ町や町内の産物、観光資源のPRや周遊コースの構築とそのパンフレットの作成をすることで、多くの人にかつらぎ町を具体的にPRします。 観光問い合わせ対応、観光情報の発信業務を委託することで、より丁寧で個々のニーズに沿った対応を行います。	
目標	活動	[活動内容] ・産物、観光資源のPR ・周遊コースの構築とパンフレットの作成
目標	目標	問い合わせに対する案内対応や情報発信を強化することで、情報を取得しやすい環境を整えます。また、周遊ルートを構築し、PRすることで1年を通じて誘客できる環境づくりを行います。
成果		
課題等		

経費	観光案内・PR業務委託料	4,622千円
	(計)	4,622千円
財源	一般財源(うち、ふるさとかつらぎ基金繰入金 4,000千円)	4,622千円

【一般会計】		事業区分	町自主事業
拡充	公共施設等適正管理推進事業(個別施設計画)		本年度予算 9,900千円
(款) 8. 土木費	(項) 2. 道路橋梁費	(目) 3. 道路新設改良費	前年度予算 3,000千円
建設課 工務係		予算書 155ページ	(増 減) 6,900千円
第1章 豊かな自然と歴史・文化のまちづくり		第3節 快適で潤いのあるまちづくり	第1 生活基盤の整備

内容	公共施設等適正管理推進事業債を活用して町道を修繕します。 <ul style="list-style-type: none"> ・町道佐野20号線：令和3年度～令和13年度施工予定 ・町道大藪柏木線：平成30年度～令和7年度施工予定 ・町道萩原妙寺線：令和2年度～令和3年度施工予定 ・町道妙寺37号線：平成31年度～令和8年度施工予定 ・町道堀越街道線：平成25年度～令和8年度施工予定 	
目的	交通事故防止を含めた安全かつ快適な道路を整備することで、町内の道路施設の良好な機能を確保し、円滑な道路交通を維持します。	
目標	活動	令和3年度施工箇所 <ul style="list-style-type: none"> ・町道佐野20号線 L=30m ・町道大藪柏木線 L=30m ・町道萩原妙寺線 L=80m ・町道妙寺37号線 L=30m ・町道堀越街道線 L=20m
目標	目標	長寿命化及び交通の安全確保に寄与します。
成果	実績	
成果	課題等	

経費	町道萩原妙寺線道路改良工事	2,000千円
	町道佐野20号線道路改良工事	2,000千円
	町道大藪柏木線道路改良工事	1,900千円
	町道堀越街道線道路改良工事	2,000千円
	町道妙寺37号線道路改良工事	2,000千円
	(計)	9,900千円
財源	公共施設等適正管理推進事業債(借入金、返済額のうち町負担は70%)	8,700千円
	一般財源	1,200千円

【一般会計】		事業区分	町自主事業
辺地対策事業費(四郷1号線)			本年度予算 21,528千円
(款) 8. 土木費 (項) 2. 道路橋梁費 (目) 4. 辺地対策事業費			前年度予算 41,443千円
建設課 工務係		予算書 155ページ	(増 減) △ 19,915千円
第1章 豊かな自然と歴史・文化のまちづくり 第3節 快適で潤いのあるまちづくり			第1 生活基盤の整備

内 容	辺地対策事業債を活用して町道四郷1号線を新設改良舗装します。 (総延長 L=700.0m・幅員 W=4.0m) 令和3年度施工 L=105.0m [事業期間] 平成28年度～令和5年度(2023年)	
目的	当該道路は、幅員が狭小でありカーブも多いため車の通行等日常生活に苦慮している現状です。 これらに対応するため、本路線を改良舗装することにより生活の利便向上を図るとともに、地域交流の充実、地場産業の発展、生活環境の整備等を図ります。	
目標	活動	令和3年度施工箇所 L=105.0m
目標	目標	交通の安全確保と地域の活性化により町域の均衡ある発展に寄与します。
成果	実績	
	課題等	

経 費	設計積算システム使用料 町道四郷1号線道路改良工事	528千円 21,000千円
	(計)	21,528千円
財 源	辺地対策事業債(借入金、返済額のうち町負担は20%) 一般財源	20,400千円 1,128千円

【一般会計】		事業区分	町自主事業
過疎対策事業(宮本中央線)			本年度予算 20,800千円
(款) 8. 土木費 (項) 2. 道路橋梁費 (目) 5. 過疎対策事業費			前年度予算 31,100千円
建設課 工務係		予算書 156ページ	(増 減) △ 10,300千円
第1章 豊かな自然と歴史・文化のまちづくり 第3節 快適で潤いのあるまちづくり		第1 生活基盤の整備	

内 容	過疎対策事業債を活用して町道宮本中央線を新設改良舗装します。 (総延長 L=800.0m・幅員 W=5.0m) 令和3年度施工 L=100.0m [事業期間] 平成28年度 ~ 令和3年度	
目的	当該道路は、集落間を結ぶ主要幹線道路ですが、幅員が狭く又急カーブも多いため、車の通行等日常生活に苦慮している現状です。本路線を改良することにより生活の利便向上を図ります。	
目標	活動	令和3年度施工 L=100.0m
	目標	交通の安全確保と地域の活性化により町域の均衡ある発展に寄与します。
成果	実績	
	課題等	

経 費	土壤検査業務委託料 町道宮本中央線道路改良工事 その他事務費 (計)	300千円 20,000千円 500千円 20,800千円
財 源	過疎対策事業債(借入金、返済額のうち町負担は30%) 一般財源	19,400千円 1,400千円

【一般会計】		事業区分	町自主事業
社会資本整備総合交付金事業(町道1号線)			本年度予算 13,838千円
(款) 8. 土木費 (項) 2. 道路橋梁費 (目) 6. 社会資本整備総合交付金事業費			前年度予算 6,150千円
建設課 工務係		予算書 157ページ	(増 減) 7,688千円
第1章 豊かな自然と歴史・文化のまちづくり 第3節 快適で潤いのあるまちづくり		第1 生活基盤の整備	

内 容	社会資本整備事業を活用して町道1号線を新設改良舗装します。 令和3年度 : 用地等購入 (総延長 L=200.0m・幅員 W=5.0m) [事業期間] 令和2年度 ~ 令和5年度	
目 的	道路交通網を拡充することにより、住民生活の利便性向上と安全性の確保を図り、地域の発展に寄与することを目的とします。	
目 標	活動	用地等の購入を行います。
	目標	道路の幅員を確保することで交通の安全を確保します。
成 果	実績	
	課題等	

経 費	町道1号線用地費	5,000千円
	町道1号線物件補償費	6,020千円
	町道1号線不動産鑑定業務委託料	508千円
	町道1号線物件補償調査業務委託料	1,980千円
	その他事務費	330千円
	(計)	13,838千円
財 源	社会資本整備総合交付金(国補助、13,000千円 × 53.0%)	6,890千円
	合併特例事業債(借入金、返済額のうち町負担は30%)	5,300千円
	一般財源	1,648千円

【一般会計】		事業区分	町自主事業
社会資本整備総合交付金事業(町道大谷長野線)			本年度予算 9,521千円
(款) 8. 土木費 (項) 2. 道路橋梁費 (目) 6. 社会資本整備総合交付金事業費			前年度予算 4,050千円
建設課 工務係		予算書 157ページ	(増減) 5,471千円
第1章 豊かな自然と歴史・文化のまちづくり 第3節 快適で潤いのあるまちづくり		第1 生活基盤の整備	

内 容	社会資本整備事業を活用して町道大谷長野線を新設改良を行います。 (総延長 L=32.0m・幅員 W=4.0m) 令和3年度 施工 L=32.0m [事業期間] 令和2年度 ~ 令和3年度	
目的	道路交通網を拡充することにより、住民生活の利便性向上と安全性の確保を図り、地域の発展に寄与することを目的とします。 現在、当該道路は、幅員が狭小であり通学道路としての機能が損なわれている為、町道改良工事を実施して交通需要と地域住民の安全を図り、また歩道を設置して歩行者の安全を確保します。	
活動	令和3年度施工 L=32.0m	
目標	通学路の幅員を確保することで児童の安全を確保します。	
成 果		
課題等		

経 費	土壤検査業務委託料 町道大谷長野線道路改良工事 その他事務費 (計)	300千円 9,001千円 220千円 9,521千円
財 源	社会資本整備総合交付金(国補助、9,000千円×58.3%) 合併特例事業債(借入金、返済額のうち町負担は30%) 一般財源	5,247千円 3,700千円 574千円

【一般会計】		事業区分	国の制度等
道路メンテナンス事業(橋梁点検)			本年度予算 30,001千円
(款) 8. 土木費 (項) 2. 道路橋梁費 (目) 9. 長寿命化修繕事業			前年度予算 30,000千円
建設課 管理係		予算書 158ページ	(増 減) 1千円
第1章 豊かな自然と歴史・文化のまちづくり 第3節 快適で潤いのあるまちづくり		第1 生活基盤の整備	

内 容	<p>平成26年7月1日施行の道路法施行規則改正に伴い、橋長2m以上の橋梁について、5年に1回の定期点検(近接目視)が義務付けられています。</p> <p>本町には、2m以上の橋梁が353橋あり、平成31年度から2巡目の点検を行っています。</p> <p>令和3年度点検 75橋</p> <p>[事業期間] 平成31年度～令和5年度</p>	
目的	<p>高度経済成長期に集中的に整備した橋梁の老朽化が進行しており、これから構造物を効率的に維持管理していくことが求められています。</p> <p>そのため道路管理者の責任による点検→診断→措置→記録というメンテナンスサイクルの確立を行います。</p>	
活動	75橋の橋梁点検を行います。	
目標	点検を実施することにより、道路交通の安全を確保します。	
成果	実績	
	課題等	

経 費	橋梁点検業務委託料	30,001千円
	(計)	30,001千円
財 源	道路メンテナンス事業費補助金(国補助、30,000千円×58.3%)	17,490千円
	過疎対策事業債(借入金、返済額のうち町負担は30%)	12,300千円
	一般財源	211千円

【一般会計】		事業区分	国の制度等	
新規 道路メンテナンス事業(見好20号橋)		(款) 8. 土木費 (項) 2. 道路橋梁費 (目) 9. 長寿命化修繕事業	本年度予算 6,101千円	
			前年度予算 0千円	
			(増減) 6,101千円	
建設課 管理係		予算書 158ページ		
第1章 豊かな自然と歴史・文化のまちづくり		第3節 快適で潤いのあるまちづくり	第1 生活基盤の整備	

内 容	平成30年度に実施した橋梁点検の結果に基づき橋梁修繕測量設計を実施します。 令和3年度測量設計 延長 L=12.4m 幅員 W=3.4m [事業期間] 令和3年度～令和4年度	
目的	長年の経年劣化及び、橋梁自体の老朽化に伴う第三者被害が起こる前に対策工事を実施します。	
目 標	活動	橋梁修繕の測量設計を実施します。
	目標	修繕を実施することにより、道路交通の安全を確保します。
成 果	実績	
	課題等	

経 費	見好20号橋測量設計業務委託料	6,001千円
	その他事務費	100千円
	(計)	6,101千円
財 源	道路メンテナンス事業費補助金(国補助、6,000千円×58.3%)	3,498千円
	過疎対策事業債(借入金、返済額のうち町負担は30%)	2,400千円
	一般財源	203千円

【一般会計】		事業区分	県の制度等
県営河川整備事業		(款) 8. 土木費 (項) 3. 河川費 (目) 1. 河川費	本年度予算 6,863千円
			前年度予算 5,345千円
建設課 事務係		予算書 159ページ	(増 減) 1,518千円
第3章 安全で安心して暮らせるまちづくり		第4節 安全・安心のまちづくり	第1 防災対策・体制の強化

内 容	急傾斜地の崩壊による災害を防止するため、一定の基準に該当する場合は、急傾斜地の崩壊による災害の防止に関する法律に基づき、県が急傾斜地崩壊危険区域を指定し、崩壊対策工事を行います。 事業費のうち、公共事業(急傾斜地崩壊対策事業)2.5%、県単独事業(小規模土砂災害対策事業・災害緊急がけ崩れ対策事業)10%を負担します。 [事業期間] 令和3年度	
目 的	急傾斜地崩壊対策工事を行うことにより、土砂災害から住民の生命を守ります。	
目 標	活動	がけ崩れ対策に係る事業費の一部を負担します。 [事業区間] ・急傾斜崩壊対策事業 : 平、花園梁瀬 ・小規模土砂災害対策事業 : 平、広口、上広口
	目標	災害の防止、被害の軽減を目指します。
成 果	実績	
	課題等	

経 費	県営河川事業負担金	6,863千円
	(計)	6,863千円
財 源	合併特例事業債(借入金、返済額のうち町負担は30%)	6,500千円
	一般財源	363千円

【一般会計】			事業区分	町自主事業
内水対策河床整備事業				本年度予算 15,450千円
(款) 8. 土木費	(項) 3. 河川費	(目) 2. 内水対策河床整備事業		前年度予算 31,400千円
建設課 事務係	予算書	159ページ		(増 減) △ 15,950千円
第3章 安全で安心して暮らせるまちづくり	第4節 安全・安心のまちづくり		第1 防災対策・体制の強化	

内 容	紀の川本川合流部の支川内水氾濫を軽減するため、堆積土砂を掘削し運搬することにより、洪水時に十分対応する河積の確保と河川環境の向上を図ります。 [事業期間] 平成26年度 ~	
目的	町内の紀の川本線合流部の支川内水氾濫を軽減するため、堆積土砂を掘削することにより、洪水時に十分対応する河積の確保と河川環境の向上を図ります。 なお、副次的産物である土砂は、売却することにより、事業費の軽減を図るもので	
目標	活動	約25,000m³の堆積土砂の掘削・運搬を行います。
目標	目標	紀の川本線合流部の支川内水氾濫の軽減を目指します。
成果	実績	
成果	課題等	

経 費	堆積土砂撤去・運搬業務委託料 河川測量業務委託料	14,850千円 600千円
	(計)	15,450千円
財 源	物品売払収入(堆積土砂)	15,450千円

【一般会計】		事業区分	町自主事業	
新規 かつらぎ公園遊具移設事業		(増 減) 5,600千円	本年度予算 5,600千円	
(款) 8. 土木費 (項) 4. 都市計画費 (目) 2. 公園費			前年度予算 0千円	
建設課 事務係	予算書 161ページ		(増 減) 5,600千円	
第1章 豊かな自然と歴史・文化のまちづくり 第3節 快適で潤いのあるまちづくり		第1 生活基盤の整備		

内 容	花園林間広場の遊具をかつらぎ公園に移設します。 [事業期間] 令和3年度	
	花園林間広場の遊具をかつらぎ公園に移設することにより遊具の有効活用を行います。利用が多く見込まれるかつらぎ公園に設置することにより、幅広い年齢層の利用を促します。	
目 的	活動	花園林間広場の遊具をかつらぎ公園に移設します。
	目標	遊具を有効活用することにより、より良い公園づくりを目指します。
成 果	実績	
	課題等	

経 費	公園遊具移設工事	5,600千円
	(計)	5,600千円
財 源	一般財源(うち、ふるさとかつらぎ基金繰入金 4,000千円)	5,600千円

【一般会計】		事業区分	町自主事業
かつらぎ西部公園整備事業			本年度予算 52,901千円
(款) 8. 土木費 (項) 4. 都市計画費 (目) 3. 公園整備事業費			前年度予算 201,627千円
建設課 事務係		予算書 162ページ	(増 減) △ 148,726千円
第3章 安全で安心して暮らせるまちづくり 第1節 健康に暮らせるまちづくり			第2 病気の予防

内 容	かつらぎ西部公園の整備 A=7.3ha 公園種別:地区公園 [主要設備] パークゴルフ場(36ホール)・管理棟・多目的広場・駐車場・トイレ等 [令和3年度施工] パークゴルフ場(18ホール) [事業期間] 平成27年度～令和5年度	
	町民の世代間交流を促進、体力づくりの推進、健康の増進等を目的として、紀の川流域下水道伊都処理区との連携を図りつつ、「かつらぎ町健康寿命日本一宣言」に寄与する地区公園整備を目指します。	
目 的	活動	パークゴルフ場第2期工事として、残り18ホールの整備工事を行います。
	目標	紀の川流域下水道事業終末処理場の周辺整備として、伊都処理区約7.3haの都市公園の整備を実施します。
成 果	実績	
	課題等	

経 費	会計年度任用職員報酬・手当等	2,401千円
	建設用地管理業務委託料	2,500千円
	パークゴルフ場整備工事	45,000千円
	かつらぎ西部公園初度備品	3,000千円
	(計)	52,901千円
財 源	社会資本整備総合交付金(国補助、40,000千円×1/2)	20,000千円
	過疎対策事業債(借入金、返済金のうち町負担は30%)	24,800千円
	会計年度任用職員個人負担金	6千円
	一般財源	8,095千円

【一般会計】		事業区分	町自主事業
かつらぎ西部公園管理事業			本年度予算 22,140千円
(款) 8. 土木費 (項) 4. 都市計画費 (目) 4. かつらぎ西部公園管理費			前年度予算 20,234千円
生涯学習課 社会体育係		予算書 162ページ	(増 減) 1,906千円
第3章 安全で安心して暮らせるまちづくり		第1節 健康に暮らせるまちづくり	第2 病気の予防

内 容	西部公園パークゴルフ場(18ホール)及びクラブハウスと多目的広場(令和3年度内供用開始予定)の管理・運営を行います。 また、町体育協会及び町パークゴルフ協会と連携し、パークゴルフ競技の普及と振興のため、広報活動及びイベントを企画し実施します。 [事業期間] 平成30年度 ~	
目 的	西部公園パークゴルフ場を町内の多くの方に利用してもらうことで、町民の健康増進を進めるとともに、西部公園を地域交流拠点施設として位置づけ、認知度を拡大させることで、地域の活性化を図ることを目的とします。	
目 標	活動	既存施設(パークゴルフ場18ホール、クラブハウス)のほか、令和3年度内供用開始予定の多目的広場を適切に管理・運営し、来場者の方の快適な利用を推進します。 また、町体育協会及び町パークゴルフ協会と連携し、パークゴルフ競技の普及と振興のため、広報活動及びイベントを実施し、集客に努めます。
成 果	目標	パークゴルフ場町内利用者数の対前年度比10%増を目指します。 令和2年度町内利用者数見込 3,900人 → 令和3年度目標 4,290人(10%増)

経 費	会計年度任用職員	7,474千円
	芝生植栽管理委託料	7,546千円
	草刈業務委託料	1,540千円
	電気回路保安管理委託料	290千円
	かつらぎ西部公園クラブハウス警備委託料	86千円
	クラブハウスベビーチェア等取付工事	615千円
	日本パークゴルフ協会会費	13千円
	その他事務費	4,576千円
	(計)	22,140千円
財 源	パークゴルフ場使用料	8,000千円
	その他特定財源(自動販売機販売手数料、電気代、会計年度任用職員雇用保険個人負担金)	79千円
	一般財源(うち、ふるさとかつらぎ基金繰入金 3,400千円)	14,061千円

【一般会計】			事業区分	町自主事業
妙寺団地建替事業				本年度予算 274,605千円
(款) 8. 土木費	(項) 5. 住宅費	(目) 7. 公営住宅等整備事業費		前年度予算 493,907千円
建設課 住宅係		予算書 168ページ		(増 減) △ 219,302千円
第1章 豊かな自然と歴史・文化のまちづくり			第3節 快適で潤いのあるまちづくり	第1 生活基盤の整備

内 容	老朽化した妙寺団地(60棟155戸)を建て替えます。 令和3年度は妙寺団地4号館の建設を行います。 [事業期間] 平成25年度 ~ 令和8年度	
目 的	老朽化した妙寺団地を建替えることにより、入居者の安全性及び快適性の向上を図るとともに、新たな入居者を受け入れることで、地域コミュニティを活性化させます。	
目 標	活動	妙寺団地4号館の建設(RC3階建1棟15戸)
	目標	良好な住環境の形成と居住水準及び地域環境の向上を図ります。
成 果	実績	
	課題等	

經 費	建築確認手数料	353千円
	住宅性能評価手数料	176千円
	妙寺団地第3期建替工事監理業務委託料	8,286千円
	妙寺団地第3期建替工事	262,013千円
	妙寺団地第3期建替入居者移転費	2,992千円
	その他委託料	785千円
	(計)	274,605千円
財 源	社会資本整備総合交付金(国補助、203,172千円×1/2)	101,586千円
	公営住宅建設事業債(借入金、返済額のうち町負担100%)	170,200千円
	一般財源	2,819千円

【一般会計】			事業区分	町自主事業
公営住宅等ストック総合改善事業				本年度予算 4,000千円
(款) 8. 土木費	(項) 5. 住宅費	(目) 8. 公営住宅等ストック総合改善事業費		前年度予算 3,300千円
建設課 住宅係	予算書	169ページ	(増 減)	700千円
第1章 豊かな自然と歴史・文化のまちづくり	第3節 快適で潤いのあるまちづくり		第1 生活基盤の整備	

内 容	<p>平成29年3月に策定した公営住宅等の長寿命化計画の見直しを行います。 現在の長寿命化計画は、平成29年から令和8年まで10年間の計画となっていますが、平成29年から令和3年までの前期期間における修繕の実績等を踏まえ、令和4年から令和13年までの10年間の計画に見直しを行います。</p> <p>[事業期間] 平成28年度～令和8年度</p>	
目 的	<p>長寿命化計画の見直しを行い、公営住宅の長寿命化を図ることで、居住性、耐久性、安全性を確保した生活基盤を整えます。</p>	
目 標	活動	長期的な管理の見通しを立てた修繕計画を策定します。
	目標	修繕計画に基づいた定期的な点検修繕により、管理に係るコスト縮減を目指します。
成 果	実績	
	課題等	

経 費	かつらぎ町営住宅長寿命化計画見直し業務委託料	4,000千円
	(計)	4,000千円
財 源	社会資本整備総合交付金(国補助、4,000千円×1/2) 一般財源	2,000千円 2,000千円

【一般会計】			事業区分	町自主事業
新規	不良空家等対策事業			本年度予算 2,500千円
(款) 8. 土木費	(項) 5. 住宅費	(目) 9. 空家等対策事業費		前年度予算 0千円
建設課 事務係	予算書	169ページ		(増 減) 2,500千円
第3章 安全で安心して暮らせるまちづくり	第4節 安全・安心のまちづくり			第1 防災対策・体制の強化

内容	老朽化が進んでいる空き家の内、所有者等から不良空家認定の申請があり、町の認定を受けた不良空家に対して、撤去費用の一部を補助する制度です。 [募集戸数] 5戸 [補助金額] 補助率 4／5 上限500千円 [事業期間] 令和3年度～	
目的	老朽化した空き家を除却することで、地震等による倒壊等の危険から住民の安全性を確保します。 また、倒壊等による危険だけではなく、公衆衛生の悪化や、景観の阻害等、多岐にわたる問題の抑制にも寄与します。	
目標	活動	町の認定を受けた不良空家に対して、所有者等が自ら撤去する場合に撤去費用の一部を補助します。
	目標	倒壊や部材の落下の恐れがある空き家の除却を促進することで、住民の安全性を確保します。
成果	実績	
	課題等	

経費	不良空家除却補助金	2,500千円
	(計)	2,500千円
財源	空き家対策総合支援事業費補助金(国補助、2,500千円×1/2)	1,250千円
	一般財源(うち、ふるさとつらぎ基金繰入金 1,000千円)	1,250千円

【一般会計】			事業区分	町自主事業
防火水槽設置工事				本年度予算 10,000千円
(款) 9. 消防費 (項) 1. 消防費 (目) 4. 消防施設整備費				前年度予算 0千円
危機管理課 消防係		予算書	173ページ	(増 減) 10,000千円
第3章 安全で安心して暮らせるまちづくり		第4節 安全・安心のまちづくり		第2 消防・交通・防犯体制の整備

内 容	防火水槽については、消防水利の基準において、「防火対象物から消防水利に至る距離が140m以下となるように設けなければならない。」と定められているため、火災発生時に有効な水利である防火水槽の充実を図ります。 [事業期間] 令和3年度	
目的	防火水槽の充実を行うことにより、火災発生時の早急な消火活動を可能とし、町民が安全安心に暮らすことができるまちづくりを目指します。	
目標	活動	笠田中地区に防火水槽を1基設置します。
	目標	笠田中地区における消防水利を確保します。
成果	実績	
	課題等	

経 費	防火水槽設置工事	10,000千円
	(計)	10,000千円
財 源	緊急防災・減災事業債(借入金、返済額のうち町負担は30%)	10,000千円

【一般会計】		事業区分	町自主事業
防災基盤整備事業			本年度予算 28,207千円
(款) 9. 消防費	(項) 1. 消防費	(目) 4. 消防施設整備費	前年度予算 4,769千円
危機管理課 消防係	予算書	173ページ	(増 減) 23,438千円
第3章 安全で安心して暮らせるまちづくり	第4節 安全・安心のまちづくり		第2 消防・交通・防犯体制の整備

内 容	消防活動に使用するために消防団に配備している資機材について、消火能力を維持するため、定期的な更新を行います。 [更新予定] 小型動力ポンプ(B-3) 3台 小型動力ポンプ積載車 2台 消防ポンプ自動車 1台		
目的	常備消防である伊都消防組合に加え、非常備消防であるかつらぎ町消防団の機能を充実させることにより、災害等への早期対応が可能となるため、町民が安全で安心して暮らせるまちづくりを目指します。 また、常に製品の機能向上が進められているため、新型製品導入の際は、消火能力が向上します。		
目標	活動	[各資機材の配備予定] 小型動力ポンプ 第1分団第3部(中飯降西部)、第1分団第3部(大畠)、 第1分団第4部(西飯降) 小型動力ポンプ積載車 第8分団第1部(花園梁瀬)、第8分団第2部(新子) 消防ポンプ自動車 第3分団第2部(笠田東)	
目標	目標	経年劣化による能力低下を防ぐため、小型動力ポンプは20年、小型動力ポンプ積載車は25年、消防ポンプ自動車は20年を経過した資機材から計画的に更新を行います。	
成果	実績		
	課題等		

経 費	車登録手数料・車共済費等	182千円
	小型動力ポンプ	4,770千円
	小型動力ポンプ積載車	4,060千円
	消防ポンプ自動車	19,140千円
	自動車重量税	55千円
	(計)	28,207千円
財 源	緊急防災・減災事業債(借入金、返済額のうち町負担は30%)	27,800千円
	一般財源	407千円

【一般会計】		事業区分	町自主事業
新規	地域防災計画見直し事業		本年度予算 5,600千円
(款) 9. 消防費	(項) 1. 消防費	(目) 7. 防災費	前年度予算 0千円
危機管理課 防災係		予算書 176ページ	(増 減) 5,600千円
第3章 安全で安心して暮らせるまちづくり		第4節 安全・安心のまちづくり	第2 消防・交通・防犯体制の整備

内 容	災害対策基本法第42条の規定に基づいた地域防災計画の見直しを行います。 [事業期間] 令和3年度	
目的	町、県、その他の行政機関や公共機関等の防災関係機関が有する機能を有効に発揮し、町内で起こり得るすべての災害に対する災害予防、災害応急対策及び災害復旧について盛り込んだ計画を策定することにより、町民の生命及び財産を災害から保護することを目的とします。	
活動	誰が見ても明確に理解・把握ができ、また、職員等がとるべき行動が明確な内容とするため地域防災計画の見直しを行います。	
目標	地域防災計画の見直しにより、職員等が緊急時に計画に沿った速やかな行動を起こすことを可能とします。また、住民の役割を明確にすることにより、災害に対する備えや応急対応に対処することができるよう体制を整えます。	
成 果	実績	
	課題等	

経 費	地域防災計画見直し業務委託料	5,600千円
	(計)	5,600千円
財 源	一般財源(うち、ふるさとかつらき基金繰入金 4,000千円)	5,600千円

【一般会計】		事業区分	国の制度等
新規	地域運動部活動推進事業		本年度予算 1,144千円
	(款) 10. 教育費	(項) 3. 中学校費	前年度予算 0千円
	教育総務課 指導係	予算書 192ページ	(増減) 1,144千円
第4章 豊かな人間性を育むまちづくり		第1節 子どもを守り育むまちづくり	第1 教育環境の充実

内 容	<p>部活動は生徒の自主的・自発的な参加により行われ、学習意欲の向上や責任感、連帯感の涵養等に資するものであり、学校教育の一環として学習指導要領に位置づけられています。</p> <p>また、部活動では教科学習とは異なる集団での活動を通じた人間形成の機会でもあるとともに、多様な生徒が活躍できる場であり豊かな学校生活を実現する役割を有しています。</p> <p>本事業は、国(文部科学省)の地域運動部活動推進事業を受託し、中学校での休日の部活動指導について、地域の指導者に移行する場合の成果と課題を検証し、今後の部活動のあり方を考察するものです。</p> <p>[事業期間] 令和3年度</p>	
目 的	本事業を通じて、生徒にとって望ましい持続可能な部活動と、学校の働き方改革も考慮した中学校の部活動改革を推進すると共に、学校と地域が協働・融合した部活動の実現を目指します。	
目 標	活動	地域の指導者による部活動の指導 ・笠田中学校(卓球部) ・妙寺中学校(剣道部)
成 果	目標	両校ともに年間45回の活動を実施 事業内容の充実、次年度への事業の拡大を図るため、検討・運営会議を年2回開催します。
成 果	実績	
成 果	課題等	

經 費	部活動指導者謝金 部活動指導者旅費 その他事務費 (計)	961千円 88千円 95千円 1,144千円
財 源	地域運動部活動推進事業委託金(県委託金、1,144千円×10/10)	1,144千円

【一般会計】		事業区分	国の制度等
新規 新学習指導要領対応備品整備事業		(増 減) 5,578千円	本年度予算 5,578千円
(款) 10. 教育費	(項) 3. 中学校費	(目) 3. 教育振興費	前年度予算 0千円
教育総務課 指導係	予算書 193ページ		
第4章 豊かな人間性を育むまちづくり		第1節 子どもを守り育むまちづくり	第1 教育環境の充実

内 容	令和3年度から中学校において新学習指導要領が完全実施され、教科書が改訂されます。本事業は、これらに対応した教師用教科書、指導者用デジタル教科書及び指導書を購入し、活用することにより、基礎・基本の確実な定着と個性を生かす教育の充実を推進するものです。 [事業期間] 令和3年度	
目的	教科書改訂に伴う教員の教材研究及び教材準備の充実と学習指導要領に基づいた生徒への効果的な学習指導を行い、生徒の学力の定着・向上を図ります。	
目 標	活動	4年毎の教科書採択に対応した教師用教科書、指導者用デジタル教科書及び指導書を購入し、各教科の全ての単元で活用することで、学習指導等の充実を図ります。
	目標	教師の教材研究の充実と学習指導要領に基づく生徒へのより適切な学習指導を目指します。
成 果	実績	
	課題等	

経 費	教科書及び指導書 うち教師用教科書 うち指導者用デジタル教科書 うち指導書 (計)	101千円 3,144千円 2,333千円 5,578千円
財 源	一般財源(うち、ふるさとかつらぎ基金繰入金 3,000千円)	5,578千円

【一般会計】		事業区分	町自主事業
北紀太鼓フェスティバル(国民文化祭、全国障害者芸術・文化祭)			本年度予算 1,220千円
(款) 10. 教育費 (項) 5. 社会教育費 (目) 1. 社会教育総務費			前年度予算 50千円
生涯学習課 管理係		予算書 197ページ	(増 減) 1,170千円
第1章 豊かな自然と歴史・文化のまちづくり	第4節 歴史・文化の継承と創造	第1 歴史・文化の継承と創造	

内 容	<p>「第36回国民文化祭」並びに「第21回全国障害者芸術・文化祭」の開催に伴い、伊都橋本地域合同事業として、「北紀太鼓フェスティバル」と題し、次の事業を実施します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・伊都橋本地域(1市3町)で活動する和太鼓団体並びに、きのかわ支援学校和太鼓部が一堂に会し、それぞれの演奏発表を行うとともに、出演者全員で演奏できる曲を新たに作り、フィナーレで総打ちを行います。 ・プロの和太鼓集団による演奏を行い、和太鼓の魅力を体感します。 ・障害者作業所等のブース及び地元物産ブースを設置します。 <p>[事業期間] 令和3年度</p>		
目 的	<p>伊都橋本地域で活動する和太鼓団体等が相互の親睦を図り、繋がりを深めるとともに、地域に根付いた文化を発信することで、地域の活性化並びに文化振興を図ることを目的とします。</p>		
目 標	活動	<p>広報活動を行い、多くの方に来場していただき、地域文化や洗練されたプロの演奏に触れる機会等を提供します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・準備、リハーサル 11月5日(金)～6日(土) ・開催日 11月7日(日) 	
	目標	<p>国民文化祭等を通じ、県内外へPRを行うことで、多くの方の来場を目指します。</p> <p>入場者数 350人</p>	
成 果	実績		
	課題等		

経 費	北紀太鼓フェスティバル実行委員会分担金	1,220千円
		1,220千円
財 源	一般財源	1,220千円

【一般会計】		事業区分	町自主事業
新規	かつらぎ町地域文化発信事業(国民文化祭、全国障害者芸術・文化祭)	(款) 10. 教育費 (項) 5. 社会教育費 (目) 1. 社会教育総務費	本年度予算 460千円
(款) 10. 教育費	(項) 5. 社会教育費		前年度予算 0千円
			(増 減) 460千円
生涯学習課 管理係		予算書 197ページ	
第1章 豊かな自然と歴史・文化のまちづくり		第4節 歴史・文化の継承と創造	第1 歴史・文化の継承と創造

内 容	<p>「第36回国民文化祭」並びに「第21回全国障害者芸術・文化祭」の開催に伴い、「第50回かつらぎ町文化展」をかつらぎ町の地域文化発信事業として、新たに、障害者芸術のブースを設けて開催します。</p> <p>[事業期間] 令和3年度</p>		
目的	<p>かつらぎ町文化展を地域文化発信事業として位置付けることにより、県内外の多くの方に、町内の芸術家の作品並びに地域文化に触れていただく機会とし、かつらぎ町のPR並びに文化芸術の発展を図ることを目的とします。</p>		
目標	活動	<p>広報活動を行うとともに、町文化協会と連携・協力して多くの方に来場していただけるよう取り組みます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・搬入、準備 10月29日(金) ・開催日 10月30日(土)～11月1日(月) 	
目標	目標	<p>国民文化祭等を通じ、県内外へPRを行うことで、多くの方の来場を目指します。</p> <p>入場者数 700人</p>	
成果	実績		
成果	課題等		

経 費	かつらぎ町国民文化祭実行委員会負担金	110千円
	かつらぎ町文化協会補助金	350千円
	(計)	460千円
財 源	一般財源	460千円

【一般会計】		事業区分	町自主事業
新規	文覚井修理費補助金	(款) 10. 教育費 (項) 5. 社会教育費 (目) 7. 文化財保護費	本年度予算 354千円
			前年度予算 0千円
			(増減) 354千円
第1章 豊かな自然と歴史・文化のまちづくり	第4節 歴史・文化の継承と創造	第1 歴史・文化の継承と創造	

内 容	県指定史跡中世農耕用水路跡文覚井の水路肩が大雨により流出していることから、文覚井水利組合が行う水路肩を復旧する保存修理事業に対して、補助を行います。	
	<p>[事業地] かつらぎ町大字笠田中</p> <p>[事業費] 1,419千円 県補助金 709千円(事業費の1/2) 町補助金 354千円(事業費の1/4) 事業者負担金 356千円</p> <p>[事業期間] 令和3年度</p>	
目的	県指定史跡の保存修理を行うことにより、貴重な史跡を後世に継承することを目的とします。	
目標	活動	適正な補助金交付を行います。
	目標	保存修理事業に対して補助を行うことにより史跡の保存を行います。
成果	実績	
	課題等	

経 費	文覚井修理費補助金	354千円
	(計)	354千円
財 源	一般財源	354千円

【一般会計】		事業区分	町自主事業
オリンピック聖火リレー事業			本年度予算 2,986千円
(款) 10. 教育費 (項) 6. 保健体育費 (目) 2. 保健体育振興費			前年度予算 5,269千円
生涯学習課 社会体育係	予算書 209ページ	(増 減) △ 2,283千円	
第4章 豊かな人間性を育むまちづくり	第2節 学びと参加によるまちづくり		第2 スポーツ・レクリエーションの推進

内 容	延期となっていた「東京オリンピック聖火リレー」が、日程を改めて「かつらぎ町」において実施されることとなつたため、沿道の警備、発走地点での式典、ランナー集合地点の確保等必要な業務を行います。 [事業期間] 令和2年度～令和3年度	
目的	日本全国を巡る聖火リレーをかつらぎ町として盛り上げるとともに、町内スポーツ機運の向上を図ることを目的とします。	
活動	聖火リレー実施に際し、東京2020組織委員会及び聖火リレー和歌山県実行委員会等と協力しながら、沿道の警備、各式典の実施及び必要人員の確保を行います。 ・聖火リレー実施日 令和3年4月10日(土)	
目標	世界的イベントであるオリンピック聖火リレーの成功を目指します。	
成果		
課題等		

経 費	聖火リレー運営業務委託料 聖火リレー看板作成及び設置撤去委託料 (計)	2,788千円 198千円 2,986千円
財 源	和歌山県聖火リレー支援交付金(雑入)	2,986千円

【シビックセンター特別会計】		事業区分	町自主事業	
紀州かつらぎふるさとオペラ公演事業		(款) 2. 事業費 (項) 1. 事業費 (目) 1. 事業費	本年度予算 4,500千円	
			前年度予算 4,800千円	
			(増 減) △ 300千円	
第4章 豊かな人間性を育むまちづくり		第4節 歴史・文化の継承と創造	第1 歴史・文化の継承と創造	

内 容	<p>過去3回公演の紀州かつらぎふるさとオペラ『横笛の詩』をベースに、新たなオペラの製作を企画し、平成31年度で脚本、作曲の一部を作成、令和2年度で残りの作曲作業を行い、令和2年度に開催予定でしたが、新型コロナウイルス感染症の影響で開催を1年延期しています。</p> <p>令和3年度は、コーラス、アリアの練習、舞台装置の作成から通し稽古、リハーサルを行い、令和4年3月に公演します。</p> <p>[事業期間] 平成31年度～令和3年度</p>		
目的	<p>プロ・アマを問わず、かつらぎ町内外の声楽家、演奏家の参加を得て公演を行うことを通して、天野地区をはじめ、高野参詣道町石道や三谷坂のPRと、歴史文化の継承、町文化振興を行うとともに、総合文化会館の活性化を図ることを目的とします。</p>		
目標	活動	<p>上演に向け、コーラスの練習、ソリストの練習から舞台装置の作成、通し稽古、リハーサル等、一年を通じ計画的に事業を進めます。また、多くの人に来場してもらうために広報活動を行います。</p> <p>・公演日 令和4年3月6日(日)</p>	
目標	目標	公演チケット販売について完売を目指します。	
成果	実績		
成果	課題等		

経 費	紀州かつらぎふるさとオペラ公演業務委託料	4,500千円
	(計)	4,500千円
財 源	地域の芸術環境づくり助成金(雑入)	2,500千円
	入場券販売	900千円
	一般財源	1,100千円

【介護保険事業特別会計】		事業区分	町自主事業
かつらぎ町高齢者等見守り配食サービス事業		(款) 3. 地域支援事業費 (項) 3. 包括的支援事業・任意事業費 (目) 2. 任意事業費	本年度予算 2,376千円
			前年度予算 1,620千円
健康推進課 衛生係		予算書 346ページ	(増 減) 756千円
第3章 安全で安心して暮らせるまちづくり		第2節 いきいきと暮らせるまちづくり	第2 高齢者福祉の充実

内 容	要援護高齢者等が地域で自立した日常生活を送ることを支援するため、宅配弁当の配達を活用して見守り訪問を行い、安否等の状況を確認します。 緊急時は、宅配業者から登録連絡先や担当ケアマネジャー、担当課等に連絡されます。 [事業期間] 令和2年度 ~	
目的	介護保険の被保険者が要介護状態又は要支援状態となることを予防するとともに、要援護状態となった場合でも地域において安心して自立した日常生活を送ることができる環境を整えます。	
目標	活動	ケアマネジャーを対象とした研修会や地域住民には広報等で事業周知を行います。 利用者に異変があつたり、連絡がとれない場合は、登録連絡先やケアマネジャーに連絡し、それでも所在が分からぬ場合は確認がとれるまで担当課が対応します。 また、日常的に見守りが必要な方に安否確認を実施します。
	目標	[数値目標] 令和3年度 50名
成果	実績	
	課題等	

経 費	高齢者等見守り配食サービス委託料	2,376千円
	(計)	2,376千円
財 源	地域支援事業交付金(国補助、2,376千円 × 38.5%)	915千円
	地域支援事業交付金(県補助、2,376千円 × 19.25%)	457千円
	介護保険料(事業費、2,376千円 × 23%)	547千円
	一般財源	457千円

【花園地域交流推進施設運営事業特別会計】			事業区分	町自主事業
はなぞの温泉「花園の里」運営事業				本年度予算 13,504千円
(款) 1. 事業費	(項) 1. 事業費	(目) 1. はなぞの温泉 「花園の里」運営費		前年度予算 13,978千円
花園地域振興課 地域振興係	予算書	368ページ		(増 減) △ 474千円
第2章 地域の特性を生かした活力あるまちづくり	第1節 活力を生むまちづくり		第3 観光・サービス業の育成	

内 容	はなぞの温泉「花園の里」の管理運営を行います。 また、経営改善のため、広報の強化、料理メニューの改良、友好都市提携プランの実施等の取り組みを行います。 [指定管理] 株式会社 アイガアル(令和2年度～令和6年度) [事業期間] 平成28年度～
目 的	豊かな自然環境の中で、地域の交流拠点、健康の増進と健全な保養の場として、地域内及び地域間の交流を推進し、福祉の向上と地域の活性化を図ります。
目 標	活動 繁忙期と閑散期が明確に分かれており、閑散期の集客及び平日の施設利用を促進するため、アマゴ釣り大会の開催や、ソーセージ作り教室などの体験メニューと連携させることで、宿泊者の増加を目指します。 また、新型コロナウイルス感染症拡大を契機に、マイクロツーリズムに注目が集まっており、町内及び県内を中心に、1時間圏内の地域を中心に集客を図っていきます。 目標 [数値目標] 宿泊者数 R2 1,700人(見込み) ⇒ R3 2,300人
成 果	実績 課題等

經 費	建物共済費 はなぞの温泉「花園の里」運営委託料 借地料 (計)	595千円 12,538千円 371千円 13,504千円
財 源	はなぞの温泉「花園の里」指定管理料納付金 一般財源	1千円 13,503千円

【花園地域交流推進施設運営事業特別会計】			事業区分	町自主事業
アマゴ釣り大会運営事業			本年度予算	522千円
(款) 1. 事業費	(項) 1. 事業費	(目) 2. 花園野外活動 総合施設運営費	前年度予算	522千円
花園地域振興課 地域振興係	予算書	368ページ	(増 減)	0千円
第2章 地域の特性を生かした活力あるまちづくり		第1節 活力を生むまちづくり	第3 観光・サービス業の育成	

内 容	花園地域内を流れる有田川(約1.3km区間)にアマゴを放流し、自然豊かな河川を利用した釣り大会を地域住民等の協力のもと開催します。 [事業期間] 平成30年度 ~	
目的	花園地域における閑散期に釣り大会を開催することで、地域への集客を増やし、地域内の観光施設利用の促進を図ります。 また、町外の参加者に花園地域の豊かな自然を知ってもらうとともに、地域住民との交流の場として、花園地域の魅力をアピールし、地域への移住を推進します。	
活動	[活動内容] アマゴ釣り大会(マスツッターレ2021)の開催 1回	
目標	[数値目標] 釣り大会参加者 230人	
成果	実績	
	課題等	

経 費	アマゴ釣り大会記念品	15千円
	需用費	399千円
	郵送料	8千円
	アマゴ釣り大会運営業務委託料	100千円
	(計)	522千円
財 源	イベント参加料(雑入)	396千円
	一般財源	126千円

【水道事業会計】		事業区分	町自主事業
中谷川改修工事に伴う送配水管布設替工事			本年度予算 46,000千円
(款) 1. 資本的支出 (項) 1. 建設改良費 (目) 3. 改良更新費			前年度予算 75,000千円
上下水道課 工務係		予算書 389ページ	(増 減) △ 29,000千円
第3章 安全で安心して暮らせるまちづくり	第4節 安全・安心のまちづくり		第3 上下水道の整備、し尿の収集・処理

内 容	<p>県が事業主体である中谷川改修事業において、既存の送配水管が支障となるため、送配水管の布設替工事を行います。</p> <p>平成30年度 中谷川河川改修事業に伴う送配水管布設替工法検討業務委託 完了済</p> <p>平成31年度 中谷川河川改修事業に伴う送配水管布設替詳細設計業務委託 完了済</p> <p>令和2年度 中谷川河川改修事業に伴う送配水管仮設工事 施工済</p> <p>令和3年度 中谷川河川改修事業に伴う送配水管布設替工事</p> <p>[事業期間] 平成30年度 ~</p>		
目 的	中谷川改修事業において、支障となっている送配水管の布設替えを行います。		
目 標	活動	<p>上水道送配水管布設替工事の発注・施工を行います。</p> <p>DCIP φ 400(送水管)L=60m DCIP φ 150(配水管)L=66m</p>	
	目標	適切な施工を実施します。	
成 果	実績		
	課題等		

經 費	中谷川改修工事に伴う送配水管布設替工事	46,000千円
	(計)	46,000千円
財 源	企業債	19,400千円
	県補償金	6,000千円
	一般会計繰入金(消火栓設置等経費)	594千円
	一般財源	20,006千円

【水道事業会計】		事業区分	町自主事業
新規	佐野浄水場浄化槽更新工事		本年度予算 4,000千円
(款) 1. 資本的支出	(項) 1. 建設改良費 (目) 3. 改良更新費		前年度予算 0千円
上下水道課 工務係		予算書 389ページ	(増 減) 4,000千円
第3章 安全で安心して暮らせるまちづくり	第4節 安全・安心のまちづくり	第3 上下水道の整備、し尿の収集・処理	

内 容	昭和56年の建築当初から使用している佐野浄水場の単独浄化槽について、老朽化に伴い、排水不良が多発しているため、合併処理浄化槽への更新を行います。 [事業期間] 令和3年度	
目 的	浄化槽上部(敷地内道路)のクラックや沈下も確認されており、陥没等によって浄化施設(取水井戸、着水井)に悪影響を及ぼす可能性があることから、早急な更新工事を行います。	
目 標	活動	老朽化した浄化槽の更新工事を行います。
	目標	佐野浄水場のトイレは、職員だけでなく、施設見学者(小学校の社会見学)や来客者も使用するため、早急な更新工事を行います。
成 果	実績	
	課題等	

経 費	佐野浄水場浄化槽更新工事	4,000千円
	(計)	4,000千円
財 源	一般財源	4,000千円

【水道事業会計】		事業区分	町自主事業
新規	水道料金調定収納及び公営企業会計システム購入事業	(款) 1. 資本的支出 (項) 1. 建設改良費 (目) 4. 固定資産購入費	本年度予算 2,613千円
			前年度予算 0千円
			(増 減) 2,613千円
第3章 安全で安心して暮らせるまちづくり	第4節 安全・安心のまちづくり		第3 上下水道の整備、し尿の収集・処理

内 容	料金等納付の利便性向上と滞納管理を効率的に行うため、コンビニエンスストア収納機能の追加、インボイス(適格請求書等保存方式)機能の追加、滞納整理管理機能の追加を行い、行政サービスの向上や滞納整理の強化に努めます。 [事業期間] 令和3年度	
目 的	システム機能の追加を行うことにより、水道料金の納付、滞納状況管理の効率化を図ることができますほか、利用者については水道料金をコンビニエンスストアで納入することが可能となるため、利用者の利便性向上に繋がります。	
目 標	活動	現行システムに各機能の追加を行います。
	目標	令和4年3月までに設定完了し、令和4年度からの運用を目指します。
成 果	実績	
	課題等	

経 費	水道料金調定収納及び公営企業会計システム購入費	2,613千円
	(計)	2,613千円
財 源	一般財源	2,613千円

【水道事業会計】		事業区分	町自主事業
新規	中継ポンプ井更新設計業務委託料 【花園梁瀬簡易水道】	(款) 1. 資本的支出 (項) 1. 建設改良費 (目) 3. 改良更新費	本年度予算 886千円
(款) 1. 資本的支出 (項) 1. 建設改良費 (目) 3. 改良更新費			前年度予算 0千円
上下水道課 工務係	予算書 406ページ		(増 減) 886千円
第3章 安全で安心して暮らせるまちづくり	第4節 安全・安心のまちづくり		第3 上下水道の整備、し尿の収集・処理

内 容	花園梁瀬簡易水道中継ポンプ井(令和2年9月 緊急漏水修繕実施済)について、点検を行つたところ、ポンプ井自体の老朽化や漏水時の衝撃による強度低下が見られたため、ポンプ井の新設(隣接町有地内への場所移動)及び既設ポンプ施設への配管接続工事を行います。 令和3年度 中継ポンプ井更新設計業務委託 令和4年度 中継ポンプ井更新工事 [事業期間] 令和3年度 ~	
目 的	強度の低下が見られるポンプ井の更新を行うことにより、安全安心な給水に寄与します。	
目 標	活動	花園梁瀬簡易水道の中継ポンプ井の更新設計を行います。
	目標	早急な実施設計を行うことにより、令和4年度予算への適切な予算計上を行います。
成 果	実績	
	課題等	

經 費	中継ポンプ井更新設計業務委託料	886千円
	(計)	886千円
財 源	企業債	800千円
	一般財源	86千円

【下水道事業会計】		事業区分	町自主事業
大谷雨水幹線工事			本年度予算 10,400千円
(款) 1. 資本的支出 (項) 1. 建設改良費 (目) 1. 公共下水道整備事業費			前年度予算 12,800千円
上下水道課 工務係	予算書	436ページ	(増 減) △ 2,400千円
第3章 安全で安心して暮らせるまちづくり	第4節 安全・安心のまちづくり		第3 上下水道の整備、し尿の収集・処理

内 容	大谷地区の浸水防除のため、約64haの流域を受け持つ大谷雨水幹線の整備事業を行います。 令和2年度現在、大谷雨水第1幹線約1200mのうち、紀の川より中谷川東側までの約600mについての改修が完了しており、残り約600mの幹線整備を進めます。		
	工 事 平成18年度～平成30年度 紀の川～中谷川区間 完成済 計画見直し 平成31年度 設 計 令和 2年度 工 事 令和 3年度～令和 9年度 中谷川～国道24号付近 [事業期間] 平成18年～		
目的	雨水幹線を整備し、大谷地区の浸水の防除を図ることにより、流域周辺の住民が安全で安心して暮らせるまちづくりを実現します。		
	大谷雨水幹線の工事を行います。 U型水路 W3000×H1500 約25m 工事予定期 10月～3月(渴水期)		
目標	目標	大谷地区の浸水防除のため、残り約600mの幹線整備を引き続き実施します。	
成果	実績		
	課題等		

経 費	大谷雨水幹線工事	10,000千円
	その他事務費	400千円
	(計)	10,400千円
財 源	防災安全交付金(国補助、9,000千円×1/2)	4,500千円
	企業債	2,670千円
	一般会計繰入金(過疎対策事業債(借入金、返済額のうち町負担は30%))	2,670千円
	一般財源	560千円